

令和4年度

市政モニターアンケート調査結果  
【 広報について 】



長 崎 市  
広報戦略室

## 1. 調査の目的

市民との良好なコミュニケーションを形成し、市民と一緒にまちづくりを進めていくために広報の重要性が増しています。

長崎市では、令和2年3月に策定した広報戦略に基づき、重点的広報テーマとして、市民の暮らしを便利で豊かにする情報をお届けするくらしプロモーション「マル得長崎」と、100年に一度のまちの変化から生まれる魅力などを市内外に発信するまちづくりのプロモーション「長崎 MIRAIISM（ミライズム）」を実施するなど、戦略的・効果的な広報をめざして取組みを進めています。

今回は、これらの広報戦略に関わる項目について、取組みの成果検証に活かすために調査を行いました。

## 2. 調査の概要

調査期間：令和4年11月25日～令和4年12月12日

送付数：276人（郵送モニター 202人 インターネットモニター 74人）

回答率：87.3%（241人）

（郵送モニター 176人 インターネットモニター 65人）

## 3. 調査結果

今回は、昨年と同様に「過去1年間に市役所から情報を入手しようとしたことがあるか」、その際に「どんな情報を入手しようとしたか」、その結果「必要な情報を入手することができたか」について確認することができました。

また、市民が抱いている「長崎市に対するイメージ」についても、その変化の傾向を確認できました。

情報の入手状況については、「過去1年間に市役所から情報を入手しようとしたこと」が「ある」と回答したかたが、約56%（昨年度調査比+1%）でした。どのような情報を入手しようとしたかについては、「生活に関すること」が約71%（同比+9%）、「新型コロナウイルスに関すること」が約65%（同比+17%）と、2項目が突出しており、生活に身近な情報や、新型コロナウイルス、ワクチン接種などに関する情報に関心が高いことがうかがえます。

このうち、必要な情報の入手が「できた」または「どちらかといえばできた」かたの割合は約93%（同比+3%）であり、情報の入手ができたかたが増えている結果となっています。

一方で、「過去1年間で市役所から情報を入手したこと」が「ない」かたの割合は約44%（同比▲1%）となっており、その理由の約71%（同比▲1%）が「必要性がないから」という結果になりました。

これらを踏まえ、部署間で連携しながらニーズの把握に努め、興味・関心を持っていただけるような情報の編集や発信方法の改善などを行いながら、適切なタイミングで正確にわかりやすく発信します。また、興味・関心のある情報を選んで受け取ることができる「長崎市公式LINE」の周知を図り、多くのかたが必要な情報を入手できるよう努めてまいります。

市民が持っている「長崎市に対するイメージ」については、「歴史・文化のまち」（約93%）、「観光・レジャーのまち」（約77%）、「国際交流のまち」（約36%）、「農林水産業が盛んなまち」（約33%）、「災害リスクが小さいまち」（約20%）が上位となりました。

「長崎市に対するイメージ」について、この1年間で変化があったかたは、約40%となっており、このうち、新たにイメージを持ったかたが増えた項目（「変化があった」と答えたかたのうち、「新たにイメージを持った」かたと、「イメージがなくなった」かたの差）は、「観光・レジャーのまち」が最も多く、続いて「スポーツのまち」となっています。一方で、「地場産業が盛んなまち」「教育・子育てのまち」はイメージが減少した項目の上位となりました。

これらのイメージを持つ割合が高まることは、市民のまちへの愛着の深まりや、暮らしやすさ、まちの魅力の向上などにつながるものであることから、長崎市のまちづくりの情報や暮らしに役立つ情報、まちの魅力、民間事業者の取り組みなどが分かりやすく伝わるよう、効果的な情報発信に取り組んでいきます。

#### 4. 調査結果の見方

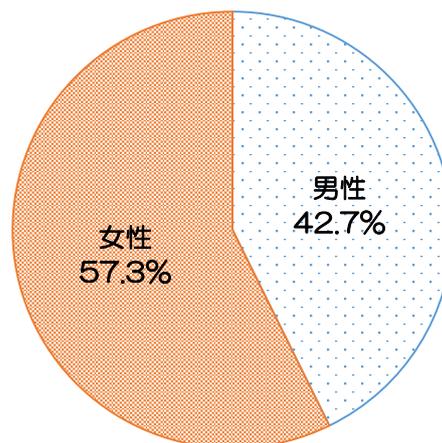
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる設問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

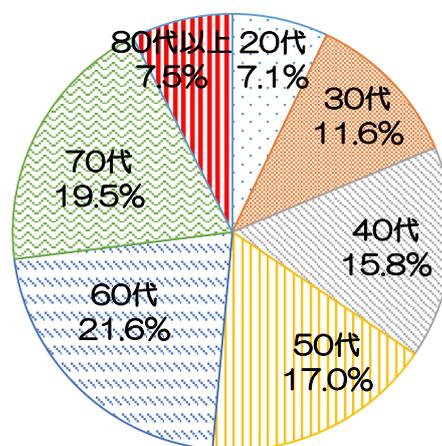
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	103人	42.7%
女性	138人	57.3%
合計	241人	100.0%



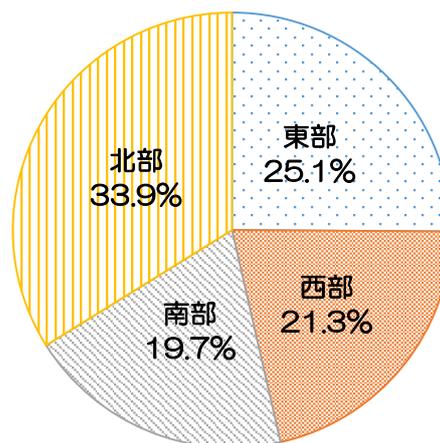
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	17人	7.1%
30代	28人	11.6%
40代	38人	15.8%
50代	41人	17.0%
60代	52人	21.6%
70代	47人	19.5%
80代以上	18人	7.5%
合計	241人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	60人	25.1%
西部	51人	21.3%
南部	47人	19.7%
北部	81人	33.9%
合計	239人	100.0%



(無回答2人)

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

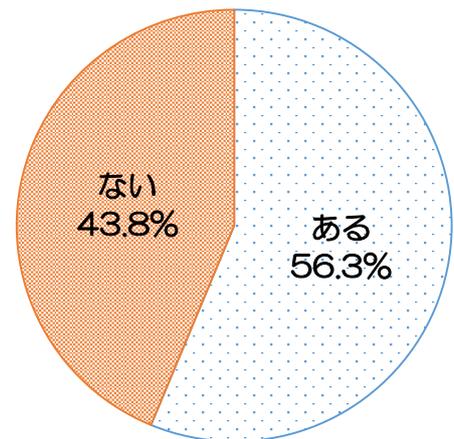
【広報全般について】

問 14 過去 1 年間に市役所からの情報を入手しようとしたことがありますか。

(当てはまるものを1つ回答)

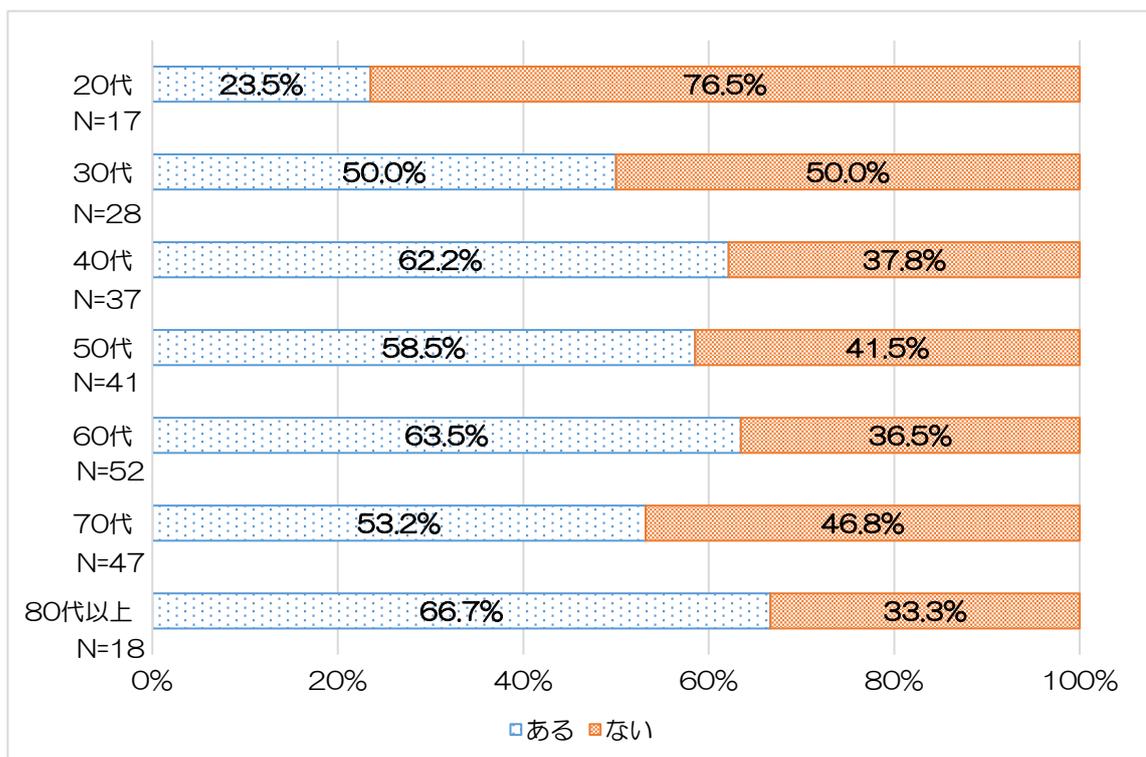
選択肢	回答者数	割合
ある	135 人	56.3%
ない	105 人	43.8%
合計	240 人	100.0%

(無回答 1 人)



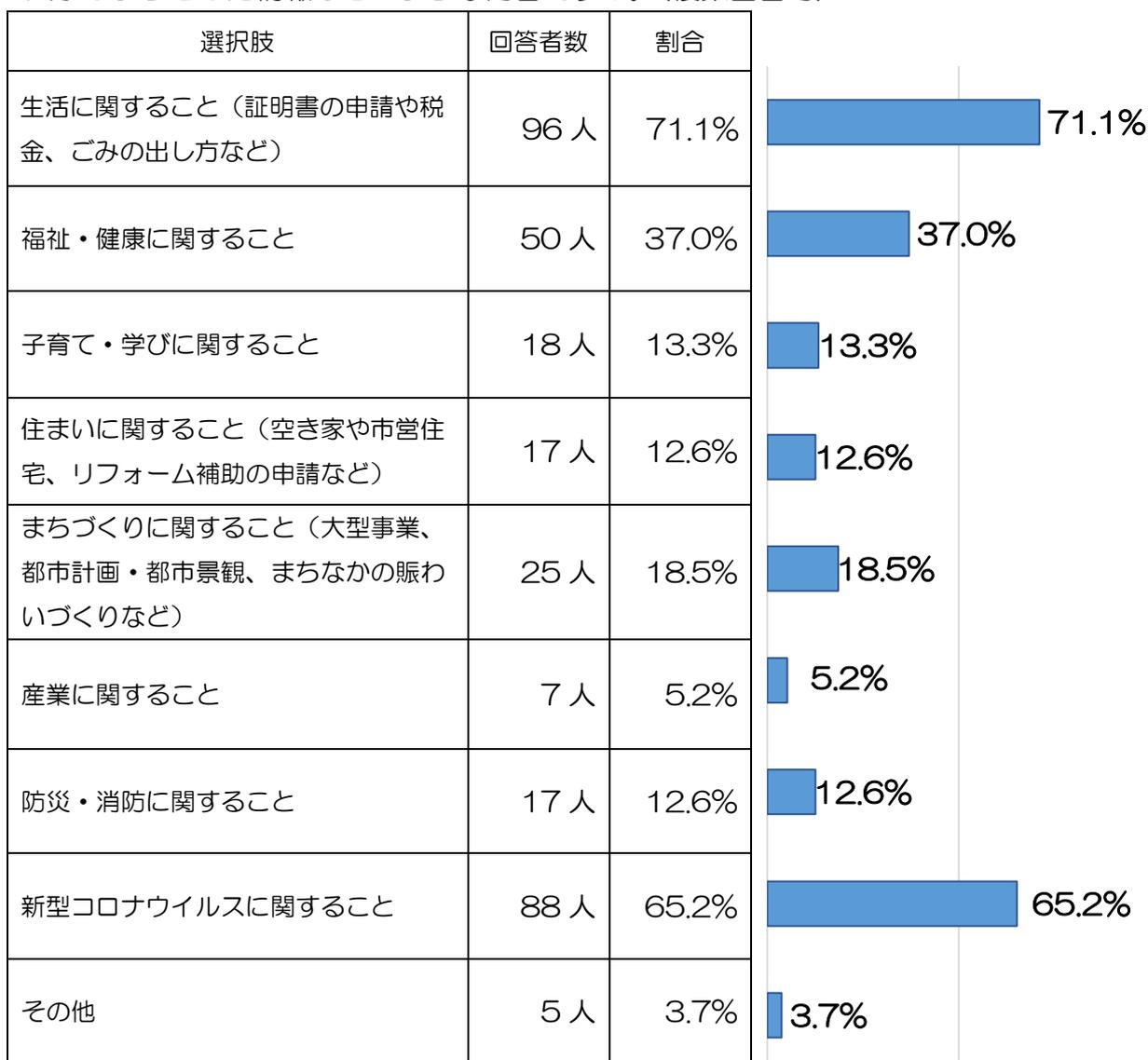
〈年齢別割合〉

(単位：%)



過去 1 年間で市役所からの情報を入手しようとしたことが「ある」かたは、約 56% となりました。年齢別でみると概ね 50% から 60% 程度となっていますが、20 代は 23.5% と最も低く、他の世代の半分以下の割合となっています。

問 15 問 14 で「1 ある」と答えた方にお尋ねします。  
 入手しようとした情報はどのような内容ですか。(複数回答可)



(回答者数 135 人 有効回答数 323)

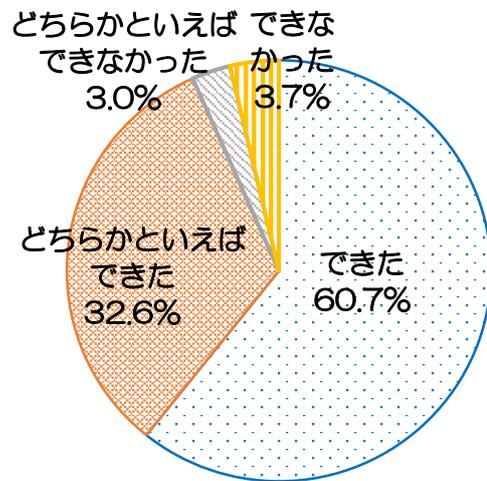
※「その他」の意見

- 台風時の避難場所
- あぐり情報
- いきいきカードの申請(60歳になったら申請すると色々な市の施設を利用しやすくなるカード、知りませんでした)や公民館講座の申し込み参加
- 市民プール移設の情報
- コロナ対策支援金に関すること

生活に特に関わりが深い、証明書の交付や税金、ごみの出し方などの「生活に関すること」が約71%、「新型コロナウイルスに関すること」が約65%、「福祉・健康に関すること」が約37%となっており、生活に身近な情報や新型コロナウイルスに関する情報に関心が高いことがうかがえます。

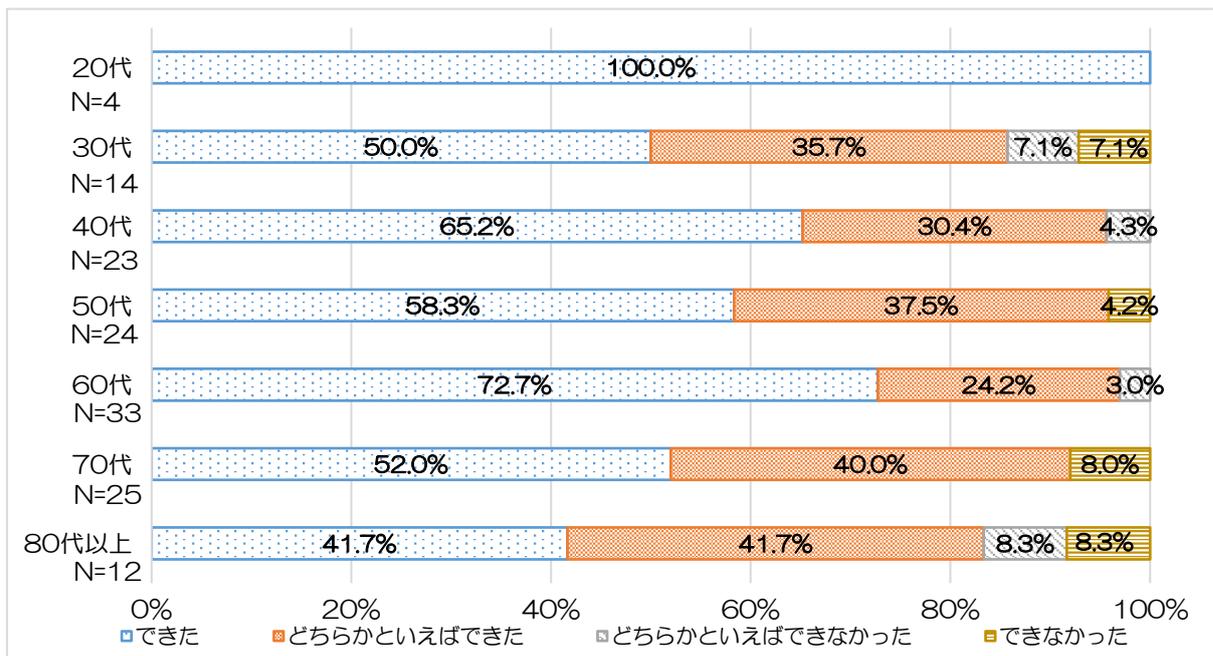
問 16 問 14 で「1 ある」と回答した方にお尋ねします。  
 必要な情報は入手できましたか。(当てはまるものを 1 つ回答)

選択肢	回答者数	割合
できた	82 人	60.7%
どちらかといえ ばできた	44 人	32.6%
どちらかといえ ばできなかった	4 人	3.0%
できなかった	5 人	3.7%
合計	135 人	100.0%



〈年齢別割合〉

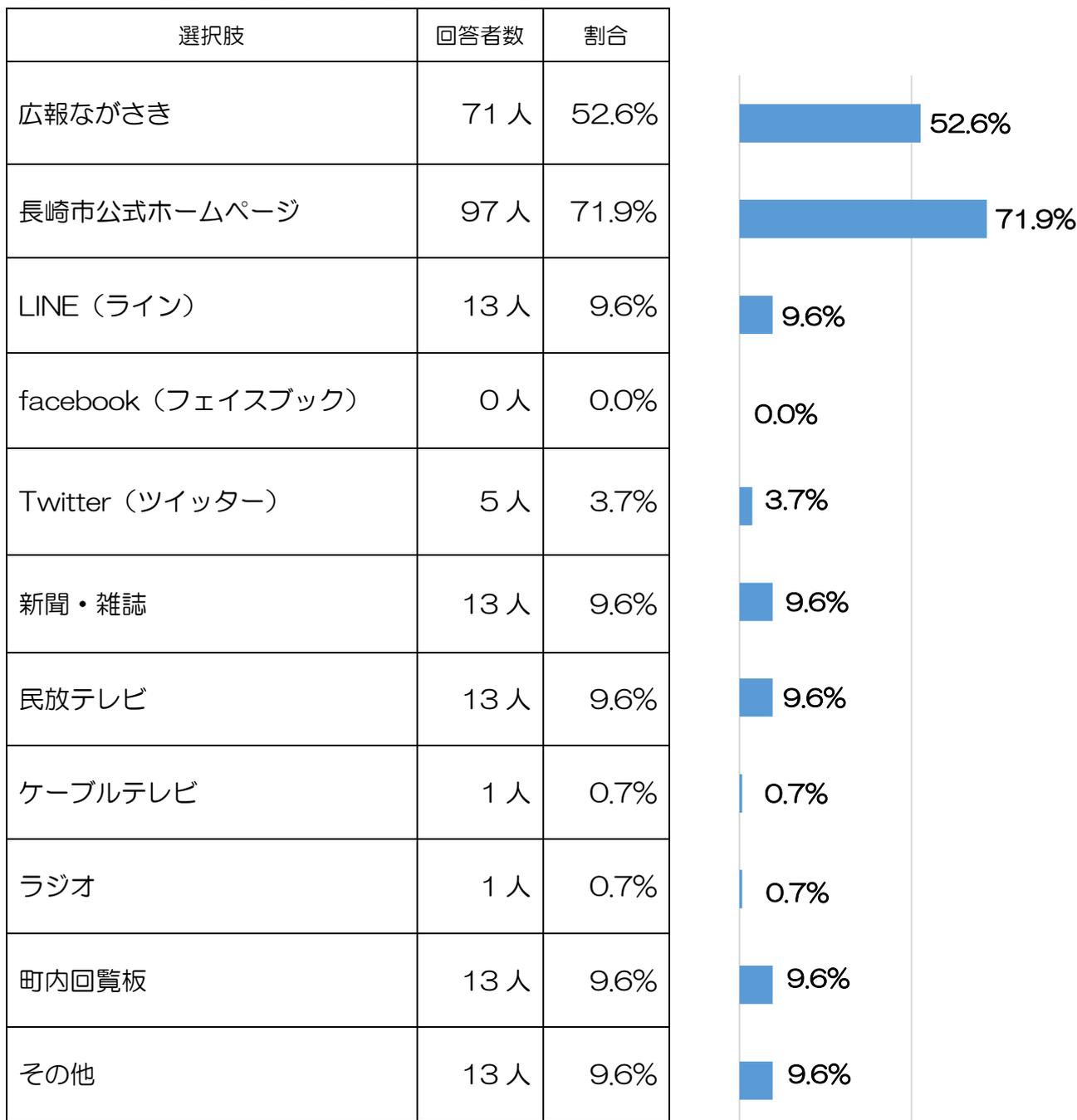
(単位：%)



必要な情報の入手が「できた」または「どちらかといえばできた」かたの割合は約 93%でした。昨年度調査と比べると、約 3%伸びており、情報の入手ができたかたが増えている結果となっています。

「どちらかといえばできなかった」「できなかった」かたの割合は、20代では 0%だったのに対し、30代で約 14%、80代以上で約 17%に達しており、必要な情報に関するニーズの把握や、ターゲットに応じた情報発信などを検討する必要があります。

問 17 問14で「1 ある」と回答した方にお尋ねします。  
 必要な情報をどこから入手しようと思いましたか。(複数回答可)



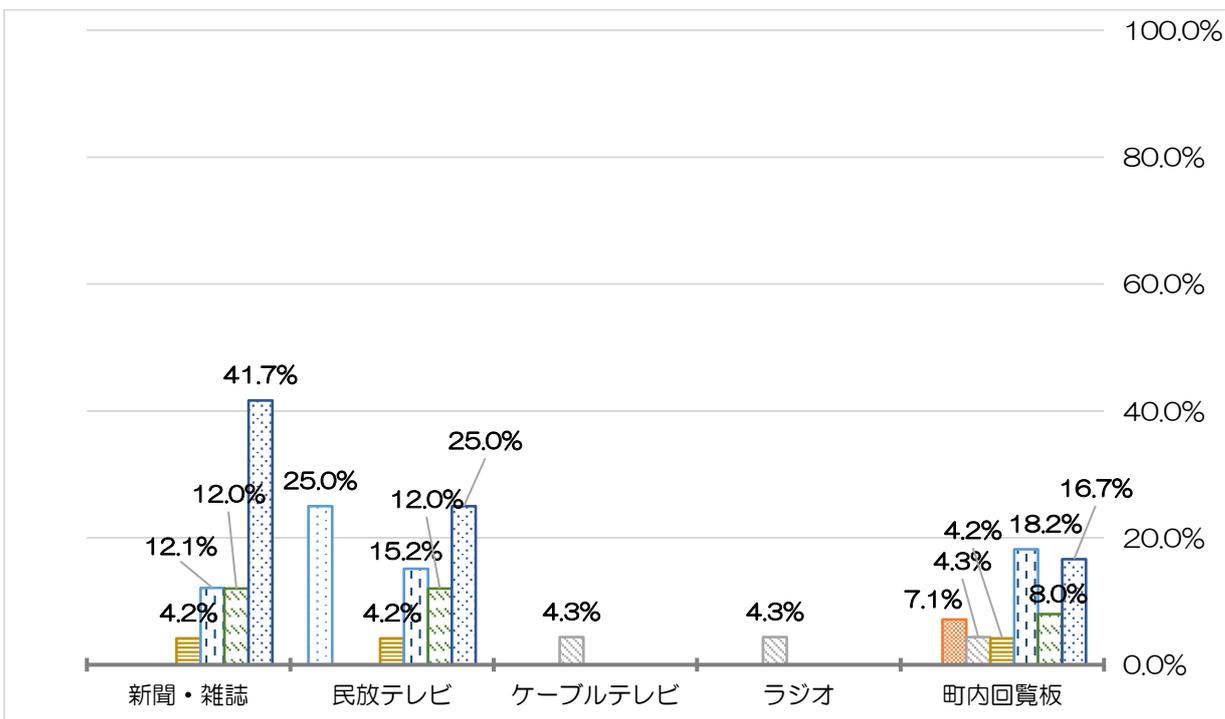
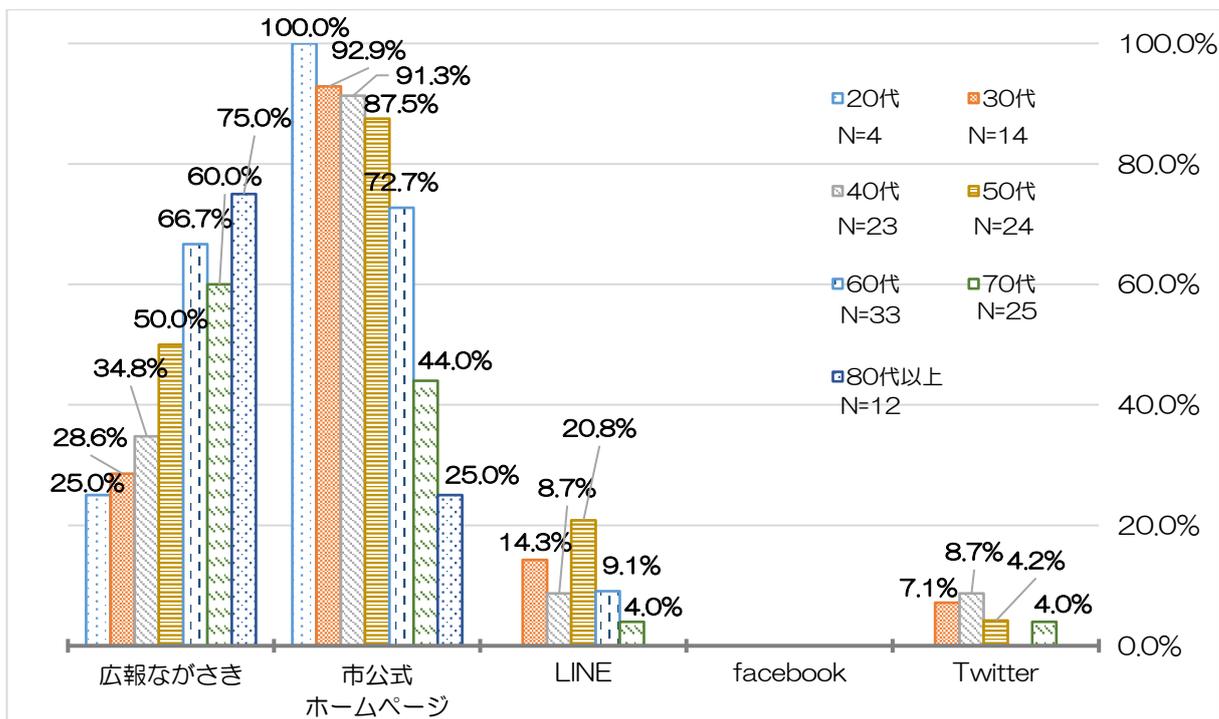
(回答者数 135人 有効回答数 240)

※「その他」の意見

- 電話、あじさいコール、長崎市コールセンター
- 市役所窓口
- 市役所の掲示板
- Google

〈年齢別割合〉

(単位：%)



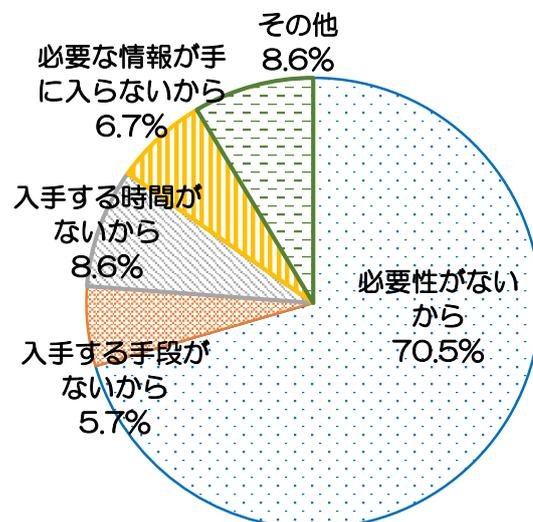
必要な情報の入手手段は、「市公式ホームページ」が約 72%、「広報ながさき」が約 53%となっています。特に、スマートフォンの使用に慣れている 20 代から 60 代までの世代は、「市公式ホームページ」の割合が高く、70 代、80 代は「広報ながさき」の割合が高くなっています。

問 18 問 14 で「2 ない」と回答した方にお尋ねします。

市役所からの情報を入手しようとしたことがない理由は何ですか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
必要性がないから	74 人	70.5%
入手する手段がないから	6 人	5.7%
入手する時間がないから	9 人	8.6%
必要な情報が手に入らないから	7 人	6.7%
その他	9 人	8.6%
合計	105 人	100.0%

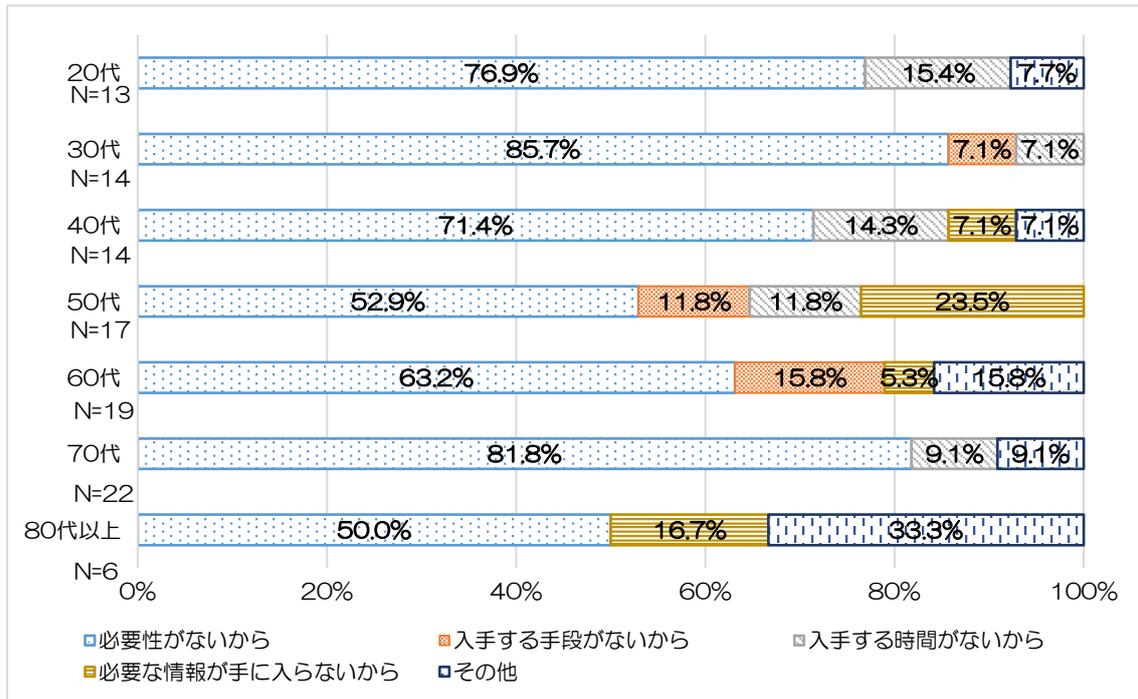


※「その他」の意見

- ある程度は市政だよりでわかる
- 入手する手段を知らなかった
- 面倒
- どのような情報があるかわからないので、ネットで情報を得ることが多い
- 入手しようとする発想がなかった
- 興味がない
- 入手方法が分からない

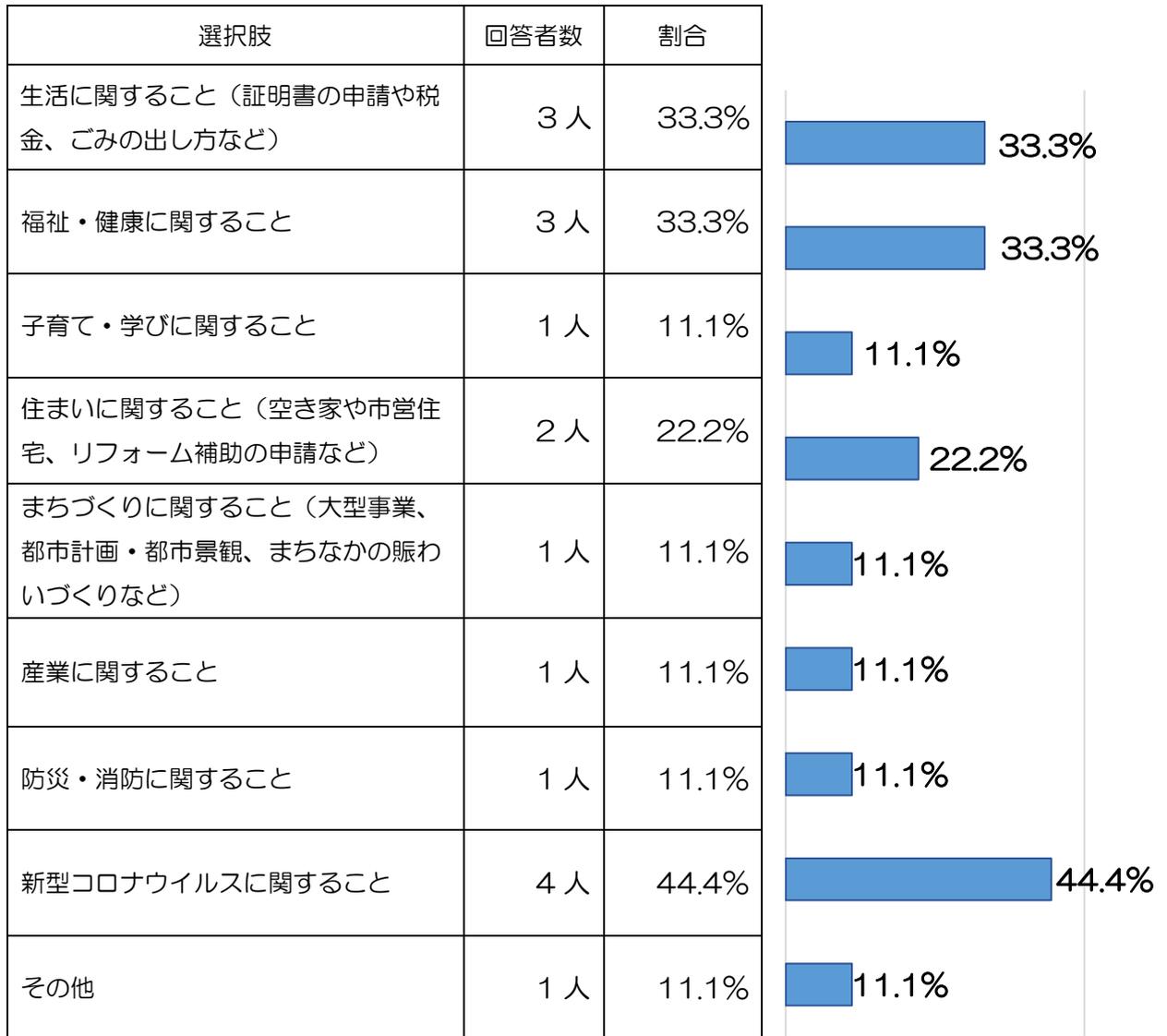
〈年齢別割合〉

(単位：%)



「必要がないから」が約71%と大部分を占めました。市役所が発信する情報には、くらしに密着した情報や安全・安心に関わる情報など知っておいていただきたい情報があるため、興味・関心を持っていただけるような情報の編集や発信方法の改善などに努めていく必要があります。

【参考】問 16「必要な情報は入手できましたか」で「どちらかといえばできなかつた」「できなかつた」と答えた方が入手しようとした情報について



（回答者数 9 人 有効回答数 17）

※「その他」の意見

- 市民プール移設の情報

【重点的広報テーマについて】

問 19 長崎市では、100年に一度のまちの変化から生まれる魅力等を発信する、まちづくりのプロモーション「長崎 MIRAISM（ミライズム）」を実施しています。あなたは、「長崎 MIRAISM」のことを知っていますか。

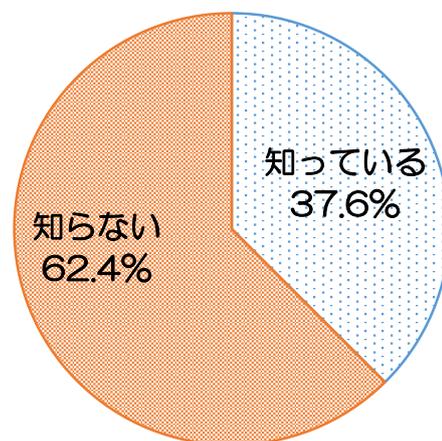
(当てはまるものを1つ回答)

※参考「長崎 MIRAISM」のホームページはこちら

<https://nagasaki-miraism.com/>

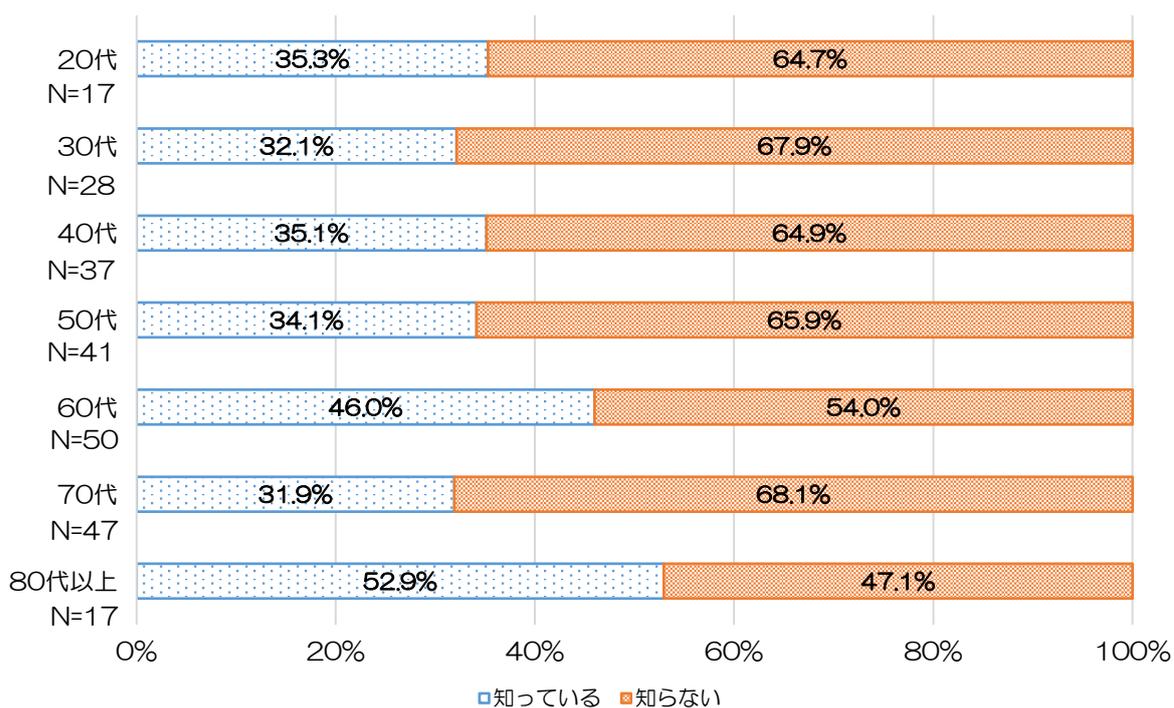
選択肢	回答者数	割合
知っている	89人	37.6%
知らない	148人	62.4%
合計	237人	100.0%

(無回答4人)



〈年齢別割合〉

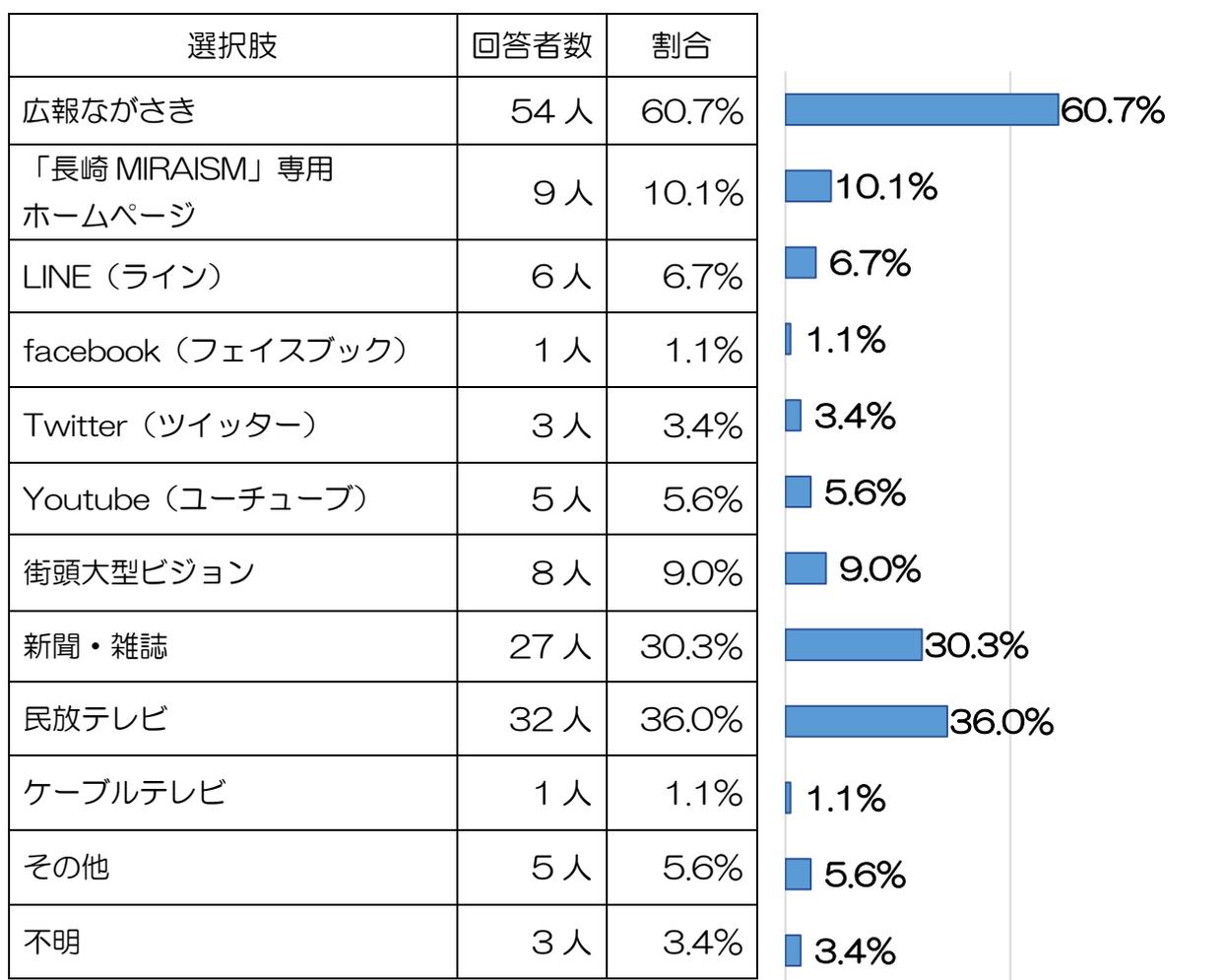
(単位：%)



「知っている」と答えたかたが全体の約38%となっており、年齢別で見ると概ね30%から50%程度となっています。昨年度調査と比べると、全体で約13%伸びており、課題となっていた30代・40代の割合が約28%伸びています。

長崎 MIRAISM の開始から約1年半が経過し、認知率は向上しているものの、周知が十分に行き届いているとは言えないことから、引き続き様々な広報媒体を通じて、情報発信のさらなる強化を図る必要があると感じました。

問 20 問 19 で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。  
 どのようにして知りましたか。(複数回答可)



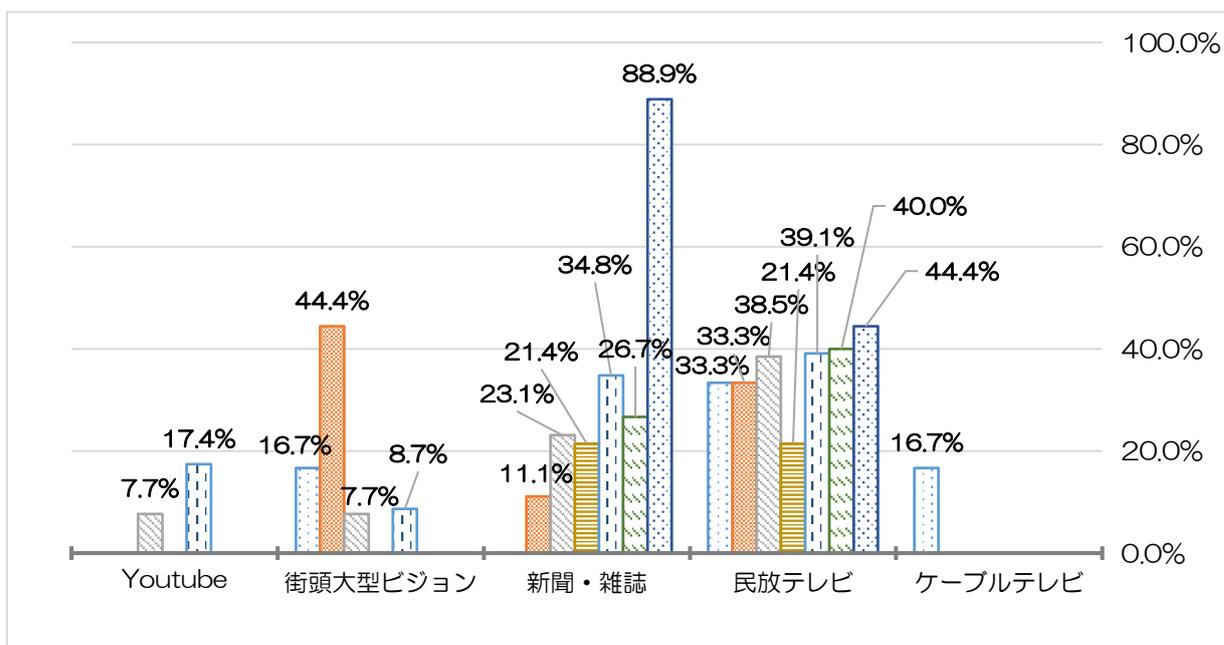
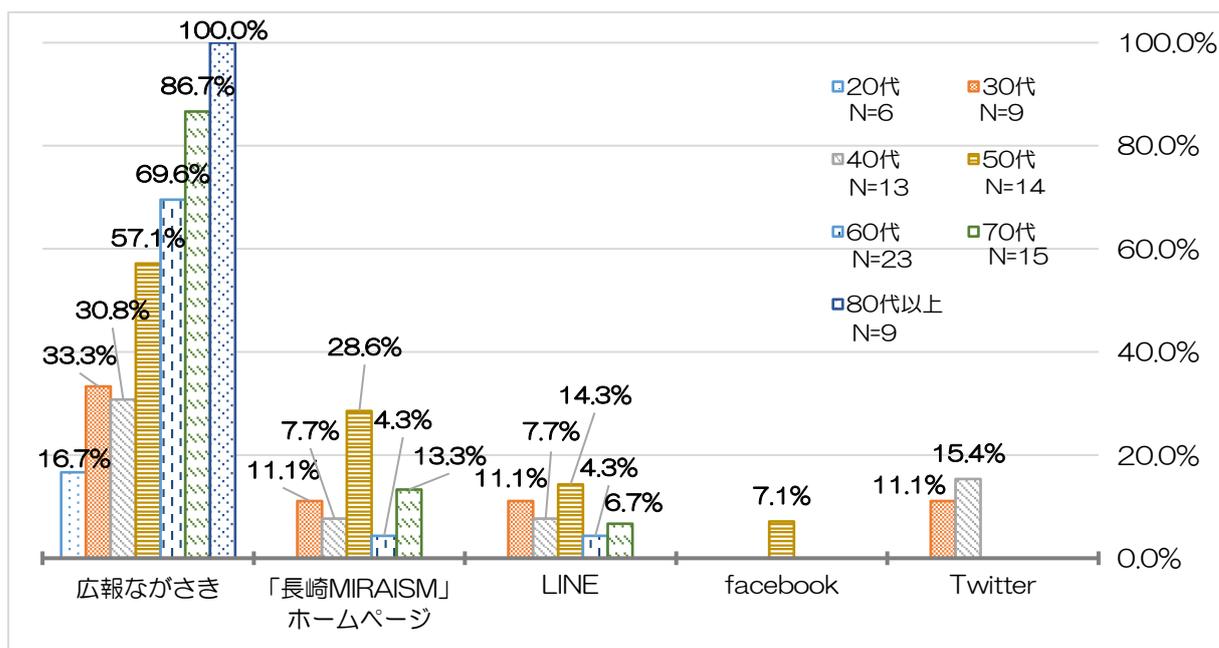
(回答者数 89 人 有効回答数 154)

※「その他」の意見

- 市長のお話を聞いたとき
- 就職活動のとき
- 家族から
- 長崎駅の広告
- 友人

〈年齢別割合〉

(単位：%)

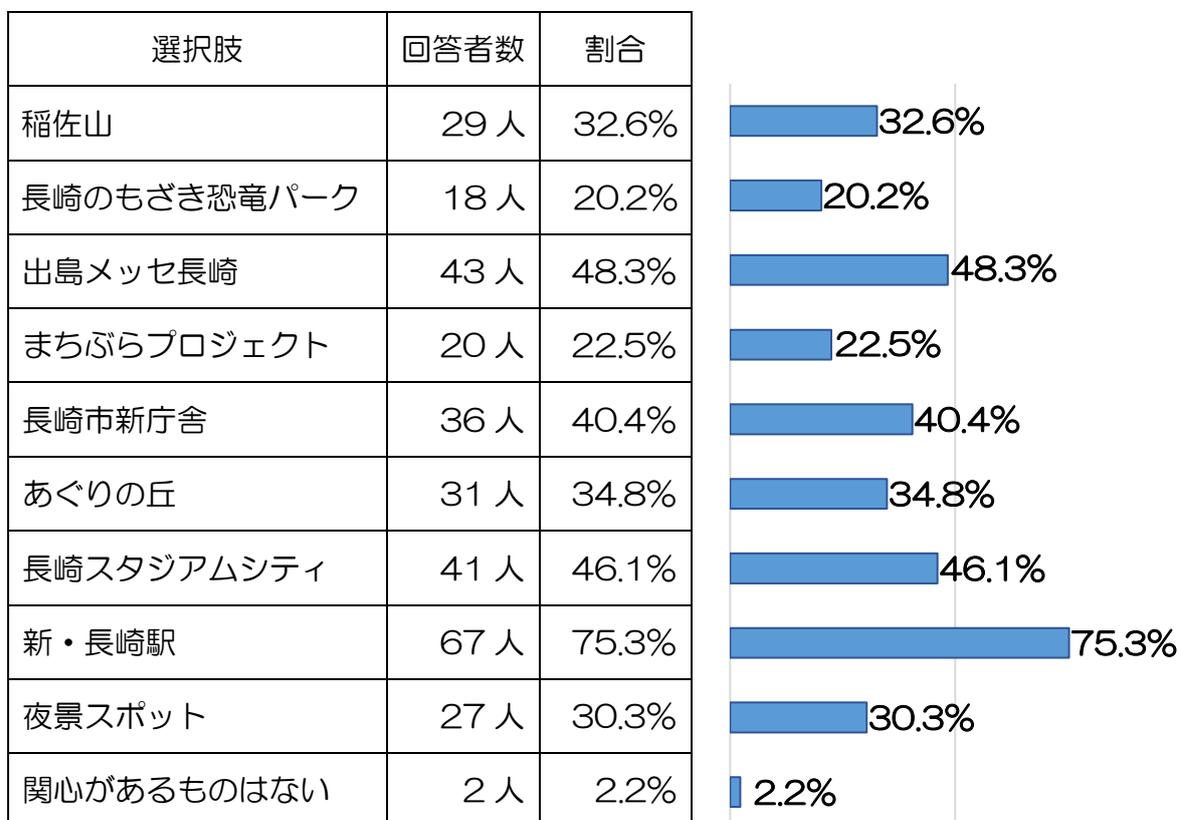


様々な媒体を活用して広報を行っている中、「広報ながさき」・「民放テレビ」で情報を得たかたが多い結果となりました。

年齢別でみると、「広報ながさき」や「新聞・雑誌」の紙媒体は高齢層の割合が高く、「民放テレビ」は年代による大きな差がない結果となっています。また、「長崎MIRAISM」専用ホームページやLINE、Twitterなどのウェブ媒体は全体的に割合が低い傾向にありますが、70代以下の世代で10%前後の割合があることから、今後これらの媒体を活用した発信にも、力を入れていく必要があると感じました。

問 21 問 19 で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。

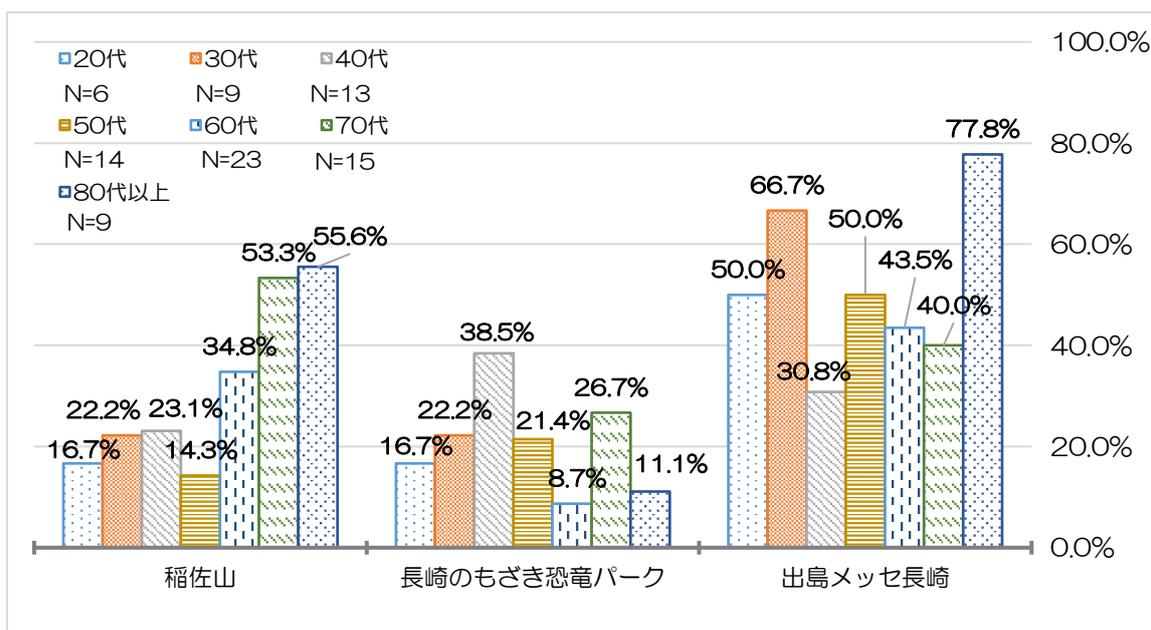
「長崎 MIRAISM」では、100 年に一度の変化に関わる 9 つの事業を取り上げていますが、このうち関心があるものはありますか。(複数回答可)

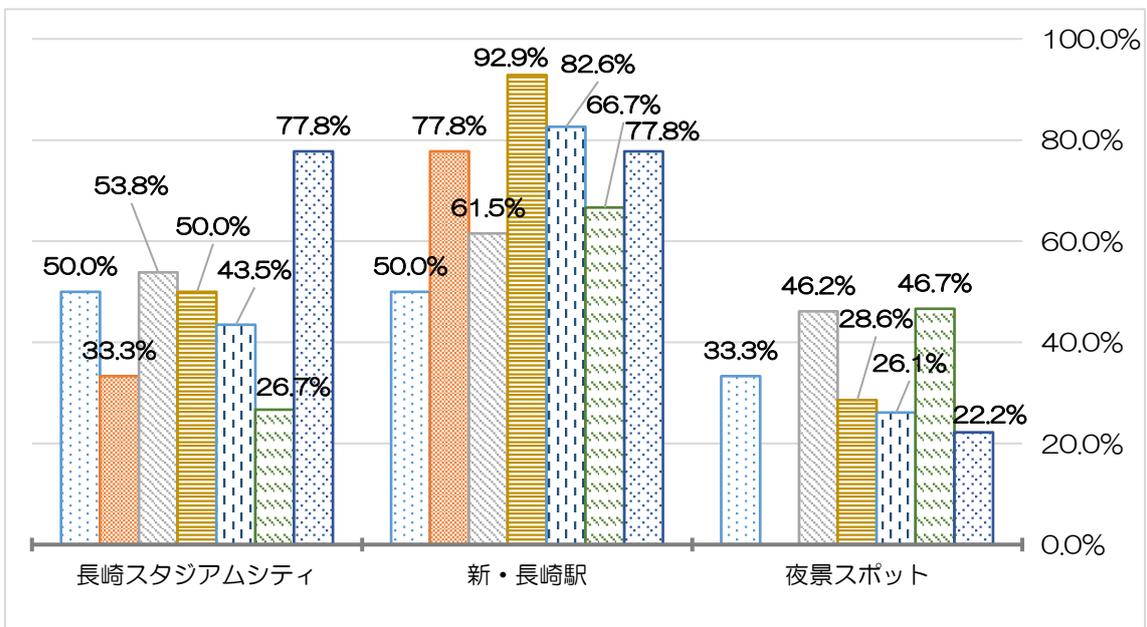
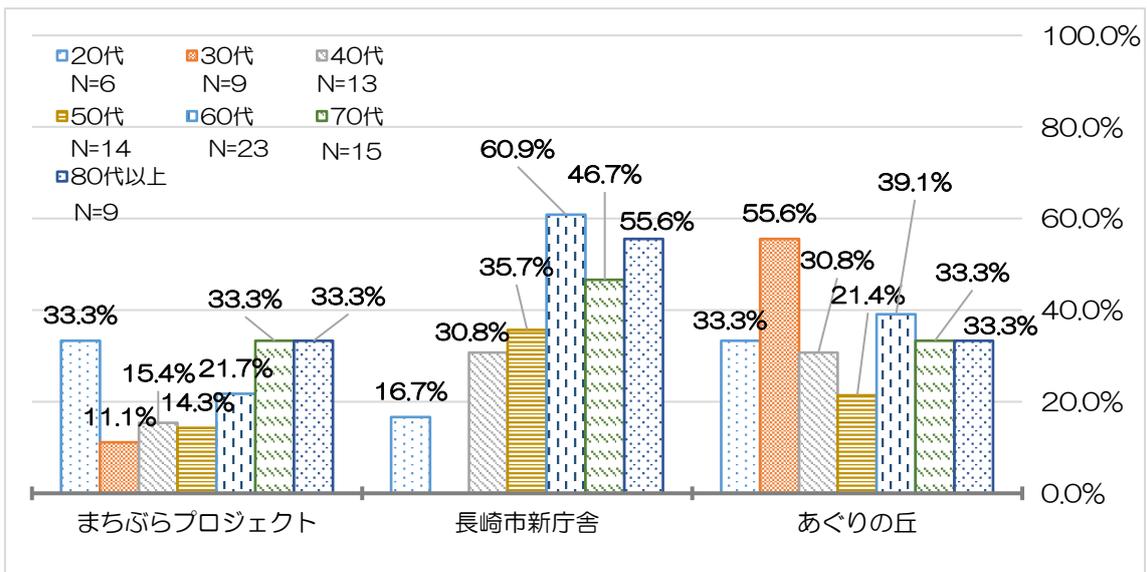


(回答者数 89 人 有効回答数 314)

〈年齢別割合〉

(単位：%)





令和4年9月に西九州新幹線が開業するなど、整備が続く「新・長崎駅」に関心があるかたが最も多く、続いて令和3年の開業から様々な会議・イベントが行われている「出島メッセ長崎」、令和6年の開業に向けて工事が進む「長崎スタジアムシティ」となっています。

一方、すでにオープンやリニューアルしている「あぐりの丘」や「稲佐山」、「長崎のもぎき恐竜パーク」の関心度が概ね20%から35%と低い傾向にあることから、オープン後の新たな魅力や事業の効果を実感してもらえるような情報の発信が必要と感じました。

問 22 長崎市では、市民の暮らしに役立つ情報をわかりやすくお届けする、くらしのプロモーション「マル得長崎」を実施しており、長崎市公式LINE を主とした情報発信を行っています。あなたは、「マル得長崎」のことを知っていますか。

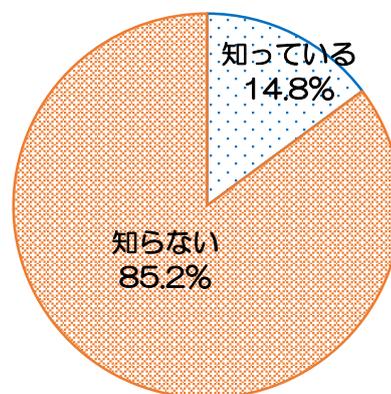
(当てはまるもの1つ回答)

※参考「マル得長崎」のホームページはこちら

<https://nagasaki-miraism.com/marutoku/>

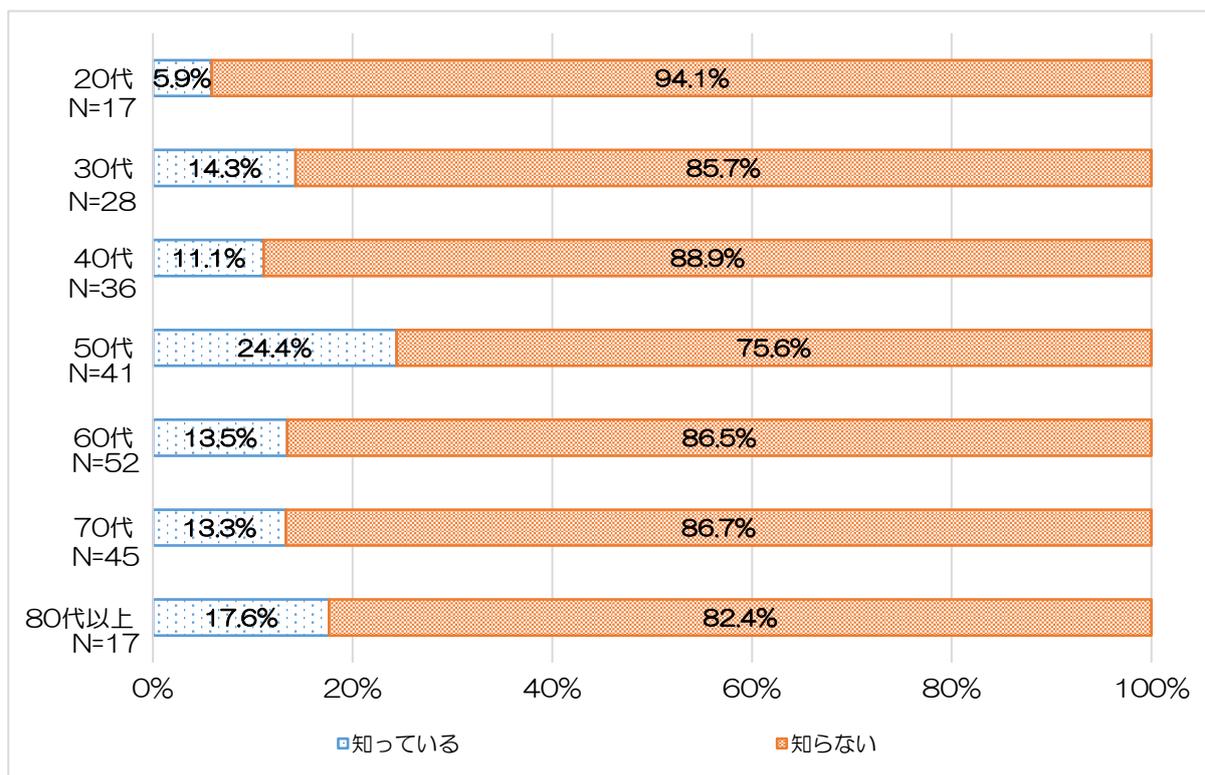
選択肢	回答者数	割合
知っている	35人	14.8%
知らない	201人	85.2%
合計	236人	100.0%

(無回答：5人)



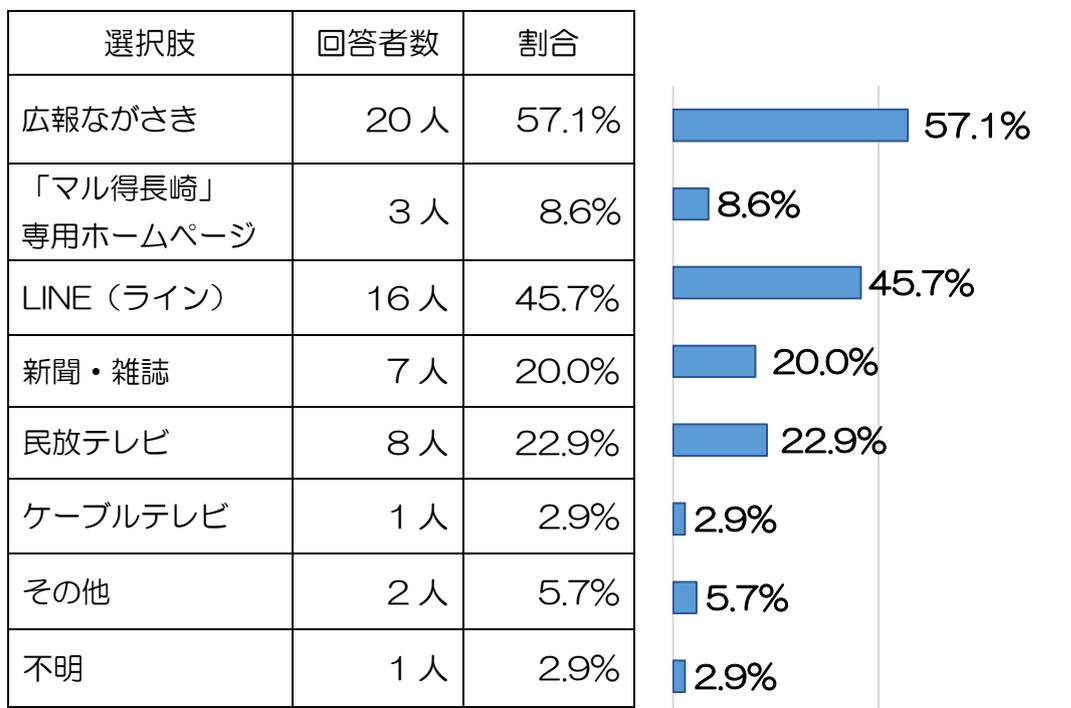
〈年齢別割合〉

(単位：%)



「知らない」と答えたかたが、全体の約85%を占めていることが分かりました。マル得長崎については、まだまだ周知が行き届いておらず、さらに情報を発信していく必要があると感じました。

問 23 問 22 で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。どのようにして知りましたか。(複数回答可)



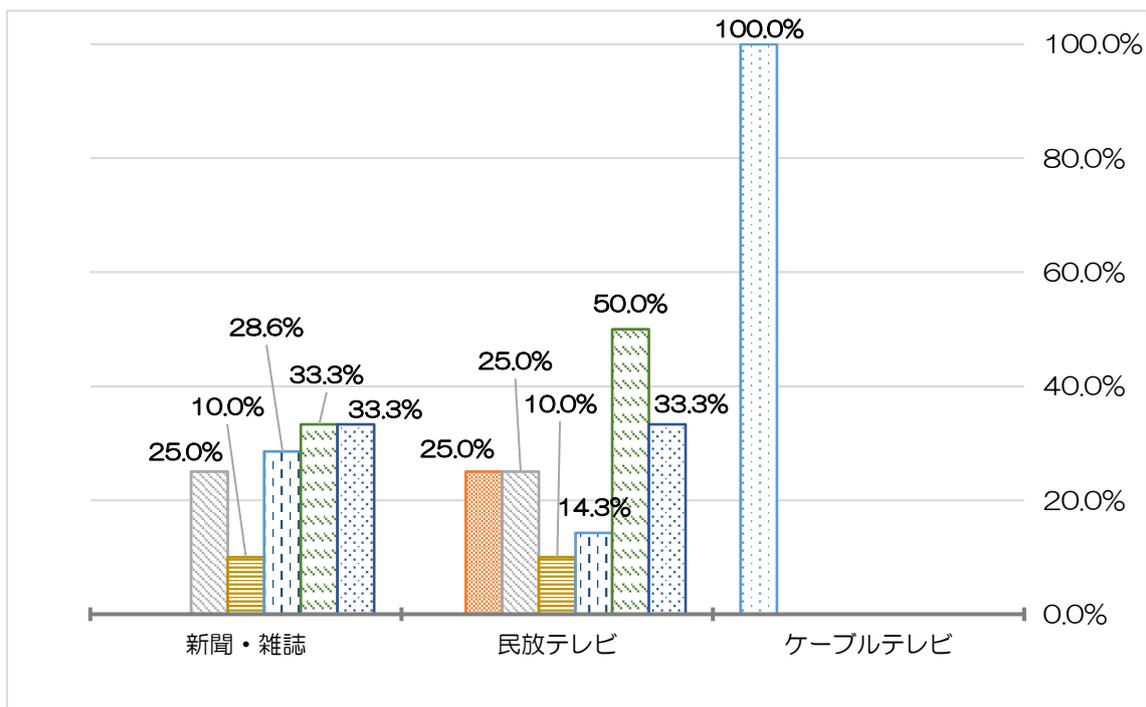
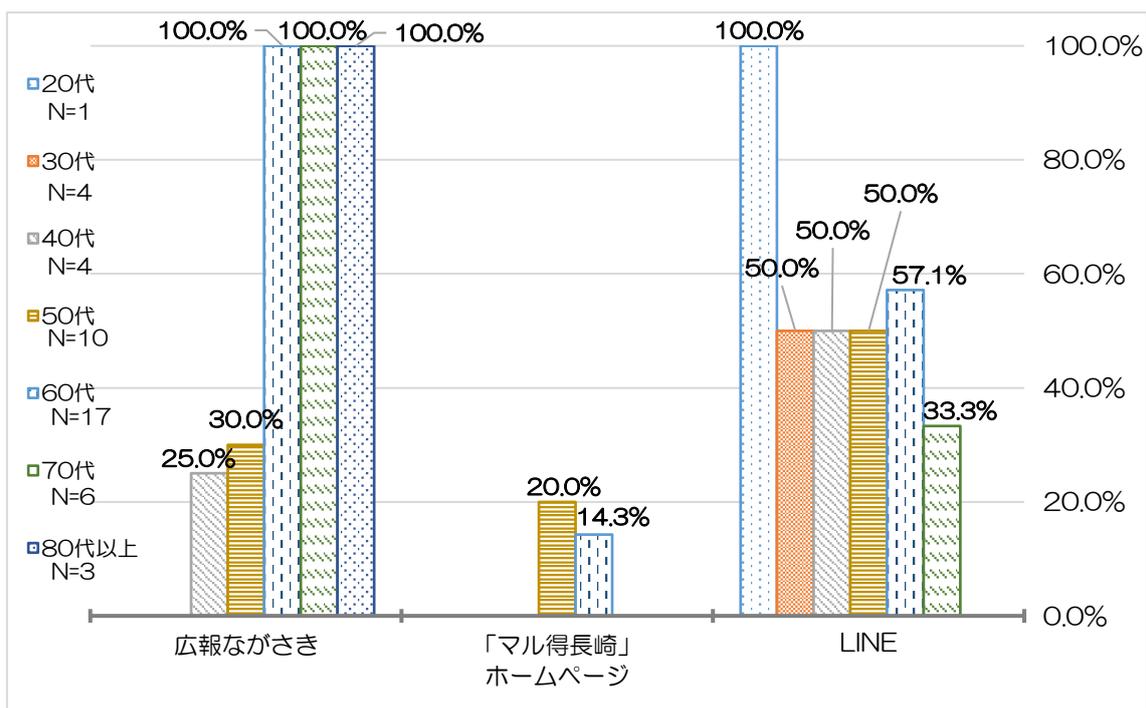
(回答者数 35 人 有効回答数 58)

※「その他」の意見

- 小学校のプリント
- 知人

〈年齢別割合〉

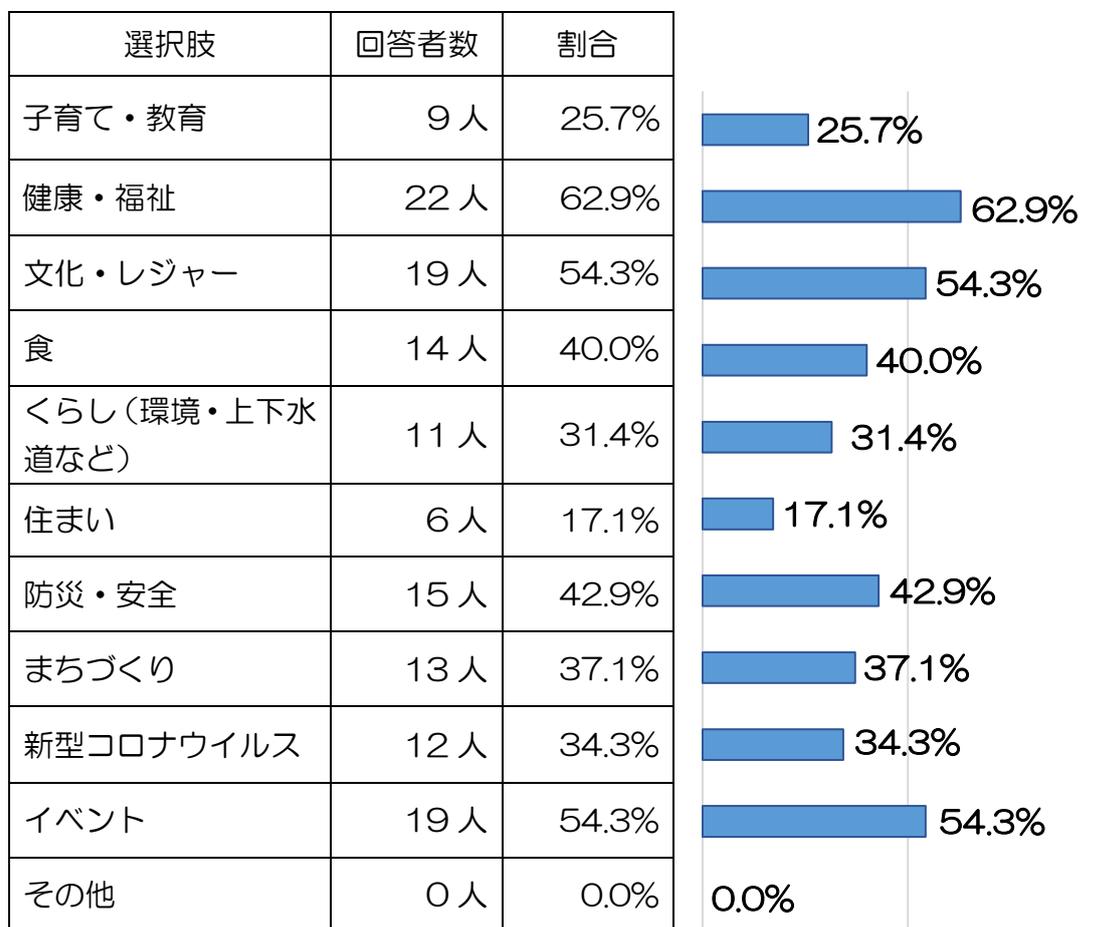
(単位：%)



「広報ながさき」や「長崎市公式 LINE」で情報を得た方が多い結果となりました。その他の意見として、「小学校のプリント」「知人」とあるように、市の広報媒体だけでなく、あらゆる機会を捉え、様々方法で周知を図っていく必要があると感じました。

問 24 問 22 で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。

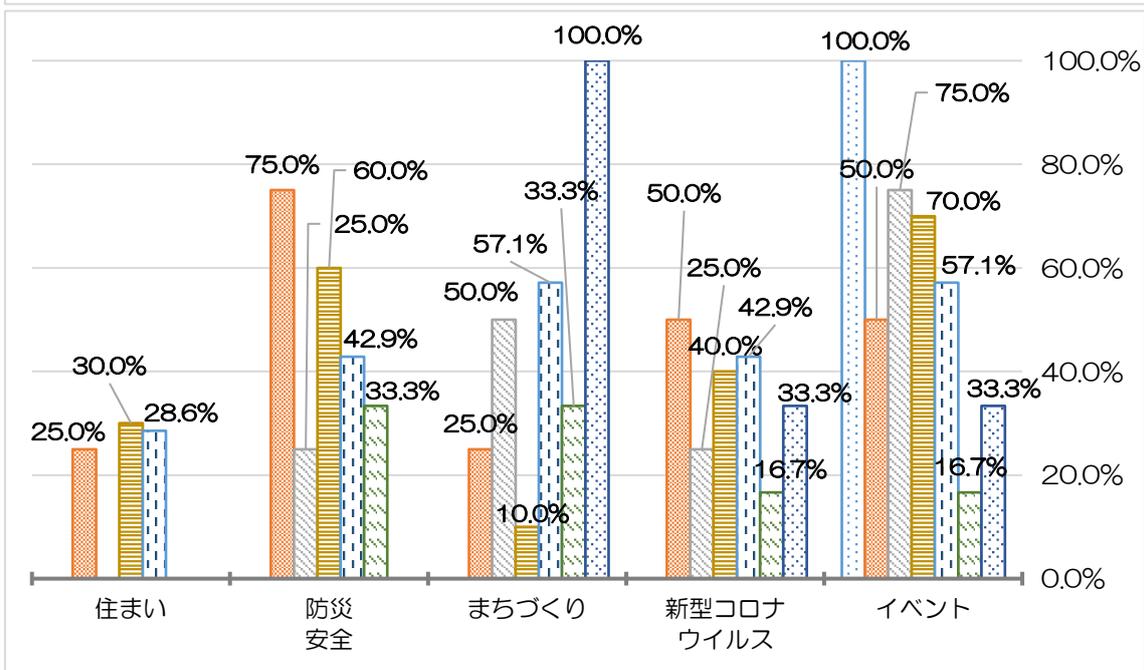
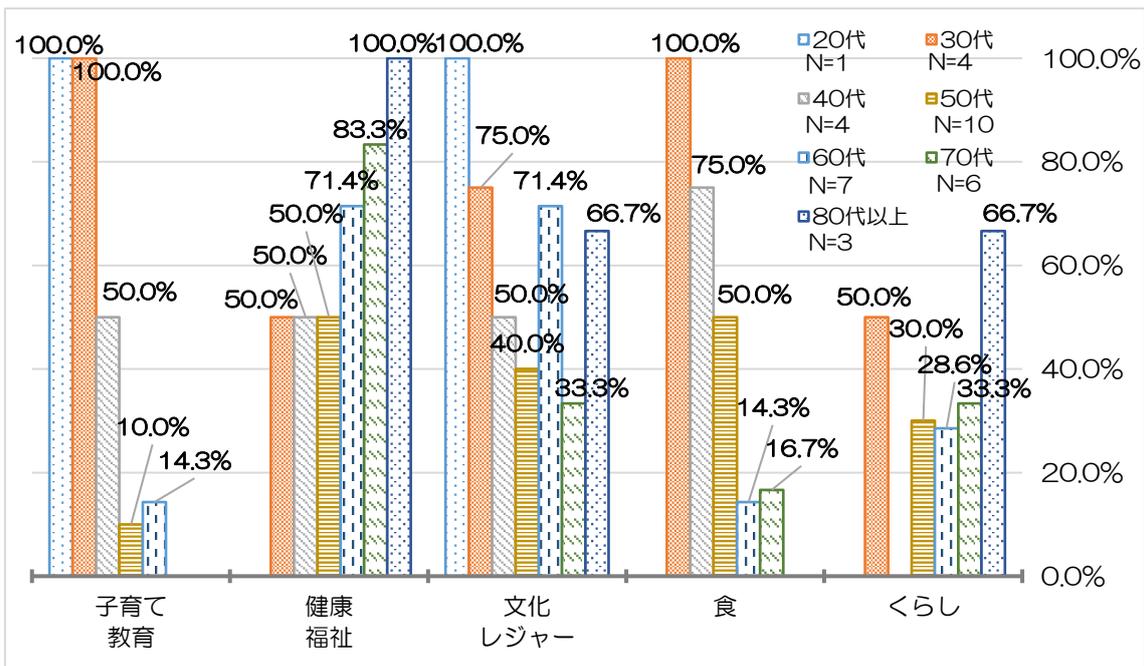
「マル得長崎」では、暮らしに密着した下記の分野の情報について、長崎市公式 LINE で発信しています。あなたはどの分野に関心がありますか。(複数回答可)



(回答者数 35 人 有効回答数 140)

〈年齢別割合〉

(単位：%)

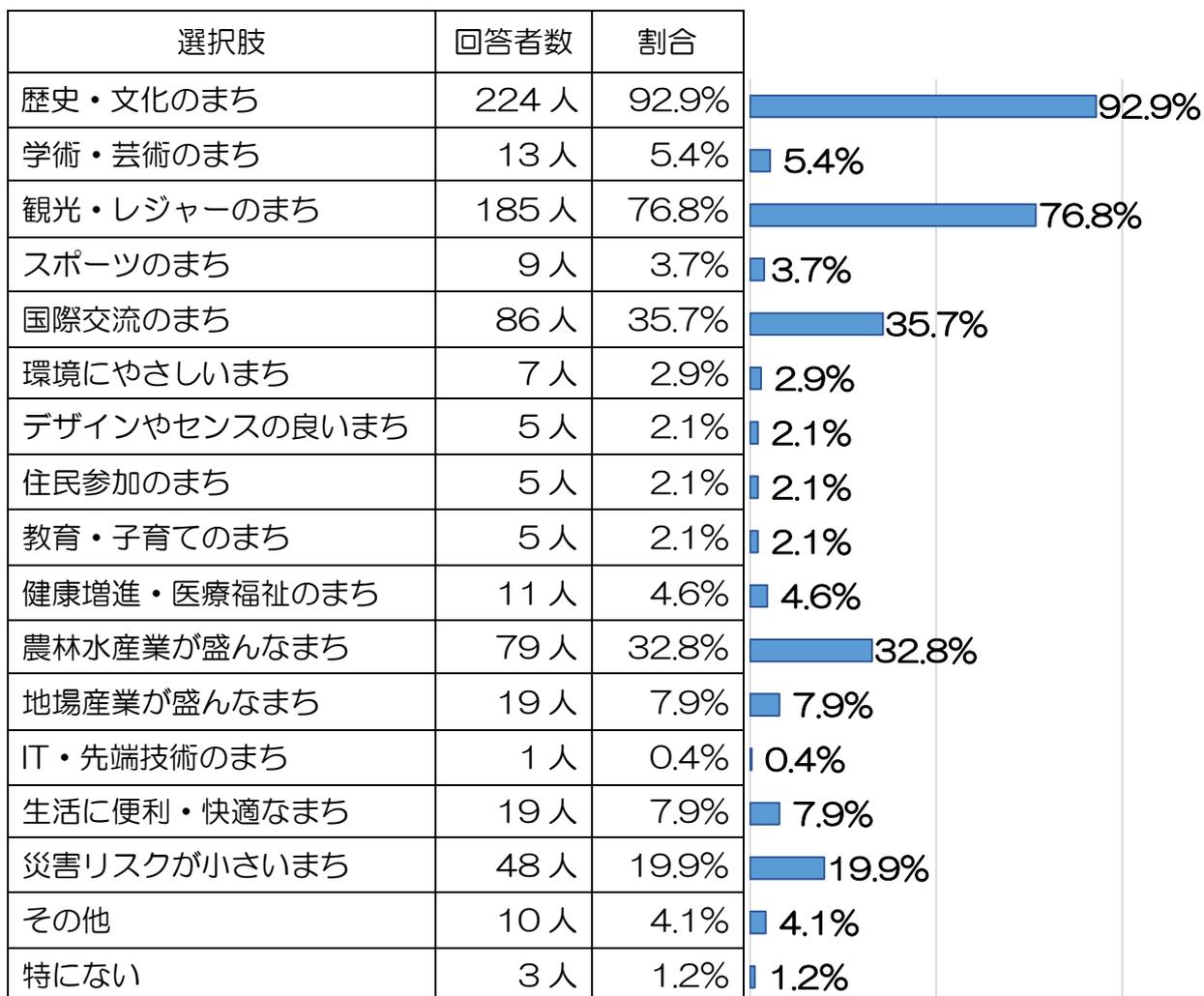


「健康・福祉」に関心があるかたが最も多く、続いて「文化・レジャー」「イベント」、「防災・安全」となっています。

マル得長崎は、「いつでも・どこでも・わかりやすく」情報が入手できるよう、SNS の中でも最も利用者が多く、お手元のスマートフォンに直接情報が届く LINE を活用しており、「子育て・教育」「健康・福祉」などの中から、必要な分野を選んで登録することができます。

LINE の登録者を増やし、多くのかたが必要な情報を入手できるよう努めています。

問 25 あなたは長崎市に対して、どのようなまちのイメージを持っていますか。  
 (複数回答可)



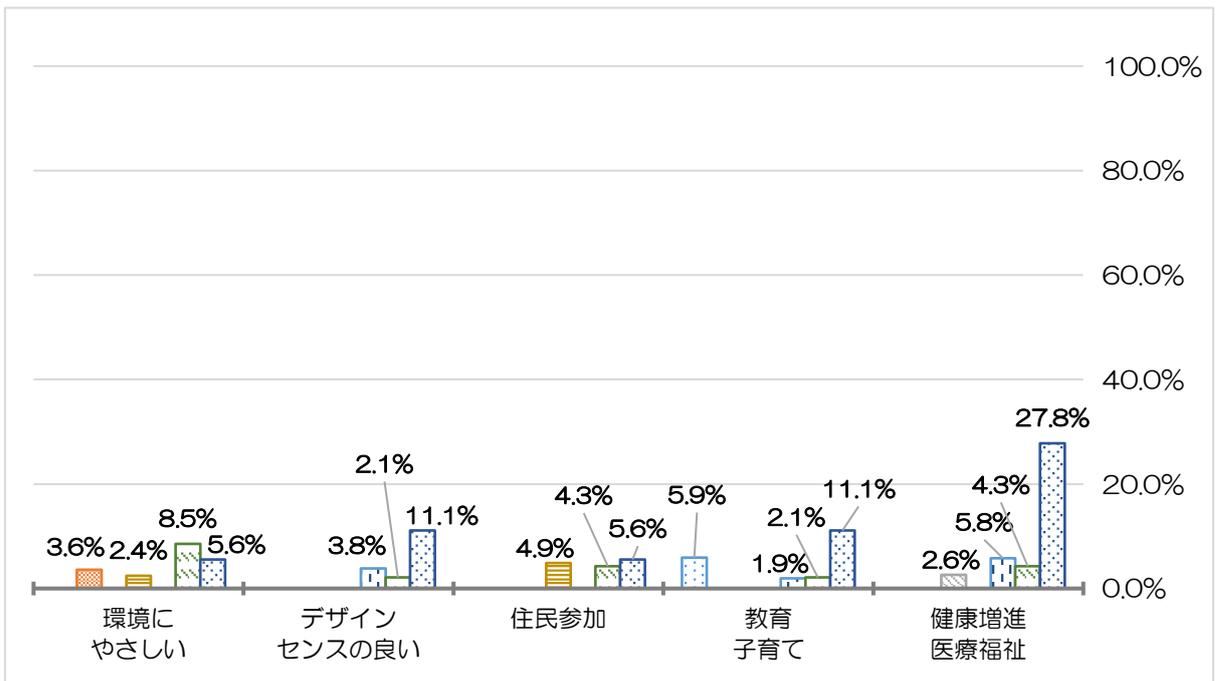
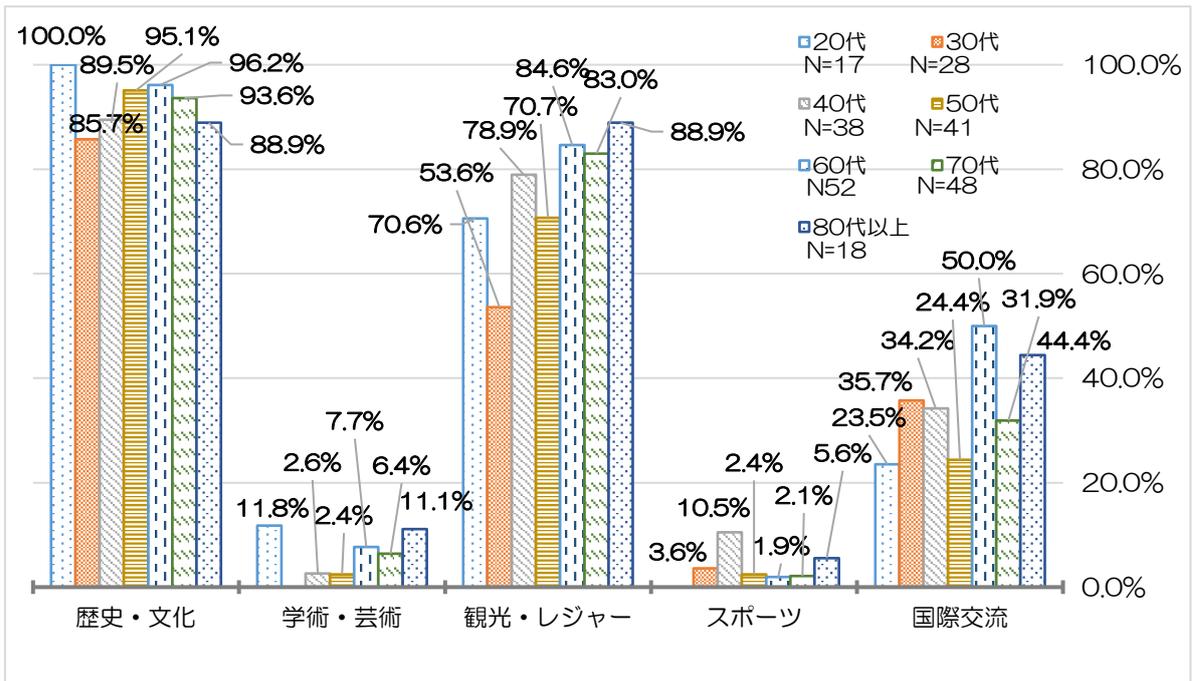
(回答者数 241人 有効回答数 729)

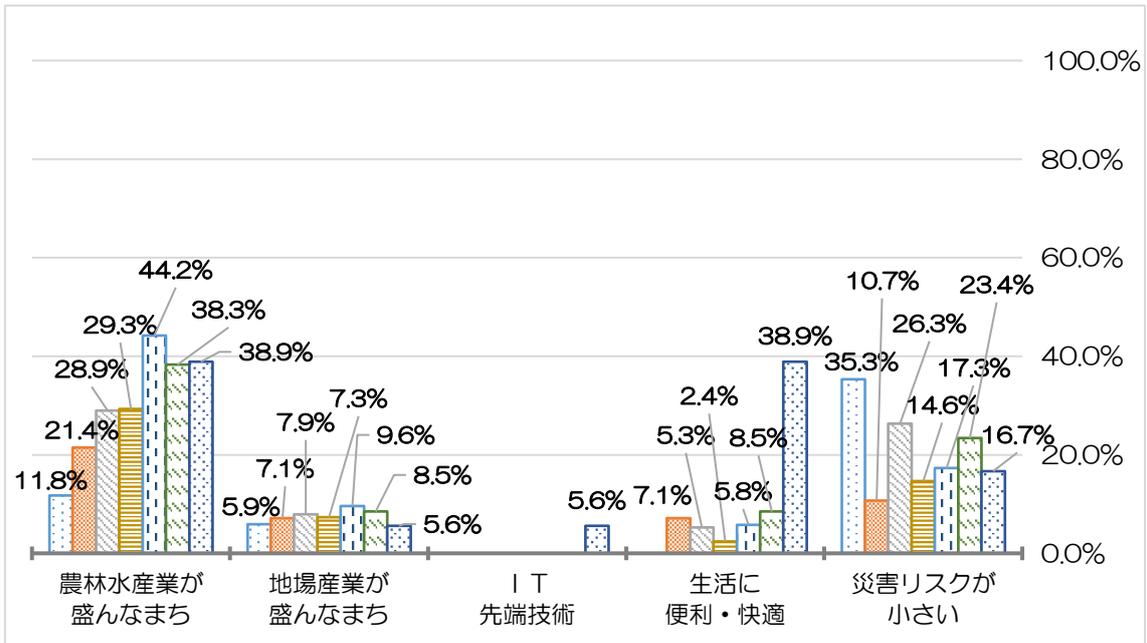
※「その他」の意見

- せせこましいまち、国際感覚に現代はとぼしいまち
- 階段、坂道の多いまち
- 戦争・原爆・平和の町
- 街並みがとにかく美しい
- 長崎さるくの反省がない
- 世界で2番目の被爆都市
- 災害リスクが高く賃金が低いまち
- 平和教育、平和活動
- 災害リスクが大きい、老朽化した法面やトンネルが多い小菅など

〈年齢別割合〉

(単位：%)





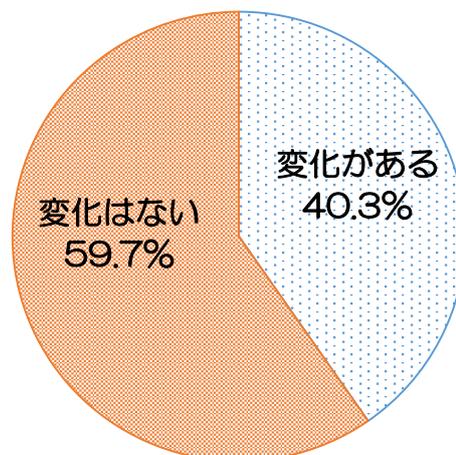
市民が抱いている「長崎市に対するイメージ」については、「歴史・文化のまち」（約 93%）、「観光・レジャーのまち」（約 77%）、「国際交流のまち」（約 36%）、「農林水産業が盛んなまち」（約 33%）、「災害リスクが小さいまち」（約 20%）が上位となり、特に「歴史・文化のまち」「観光・レジャーのまち」の割合が高くなっています。

上位5つを年齢別でみると、「歴史・文化のまち」は、各年代の割合が 85% 以上と、全世代で高い結果となっています。「観光・レジャーのまち」「農林水産業が盛んなまち」は、年代が若くなると割合が低くなる傾向があり、「国際交流のまち」は 60 代、「災害リスクが小さいまち」は 20 代が最も高くなりました。

問 26 長崎市に対するあなたのイメージについて、この1年間に変化がありましたか。(当てはまるものを1つ回答)

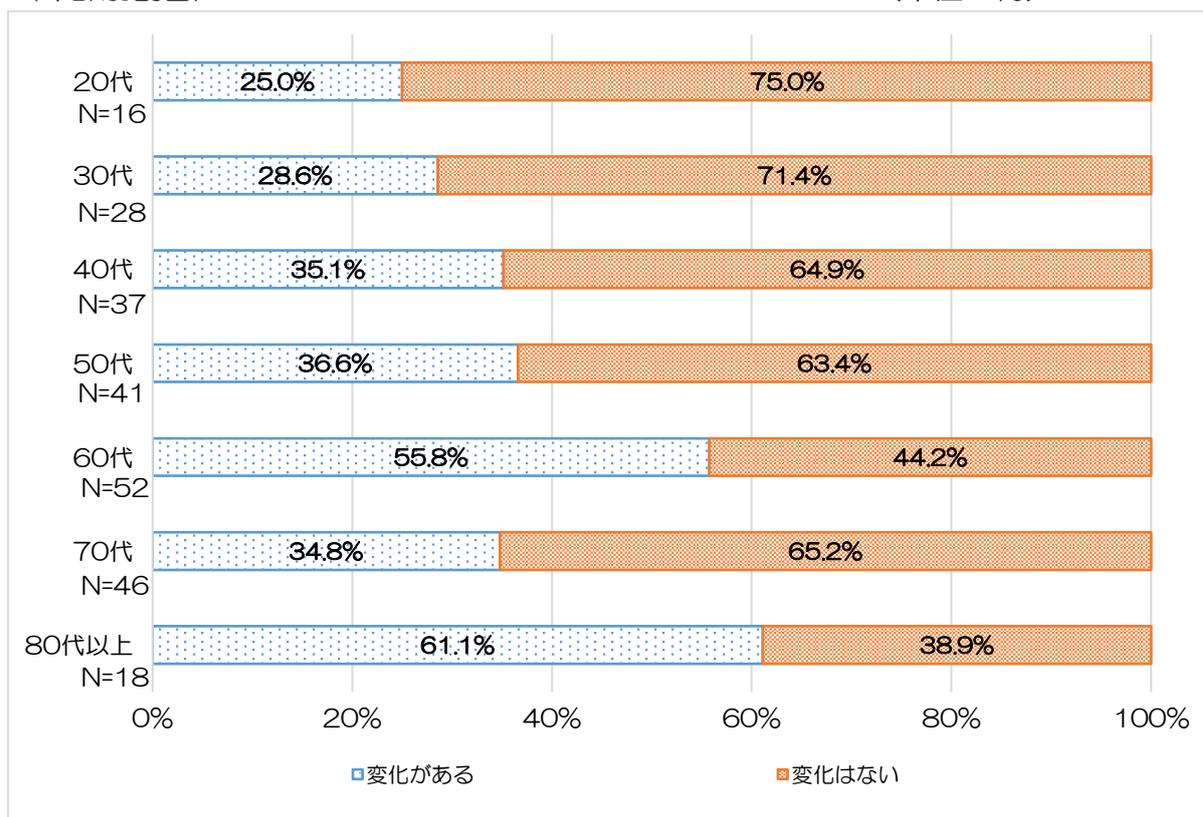
選択肢	回答者数	割合
変化がある	96人	40.3%
変化はない	142人	59.7%
合計	238人	100.0%

(無回答3人)

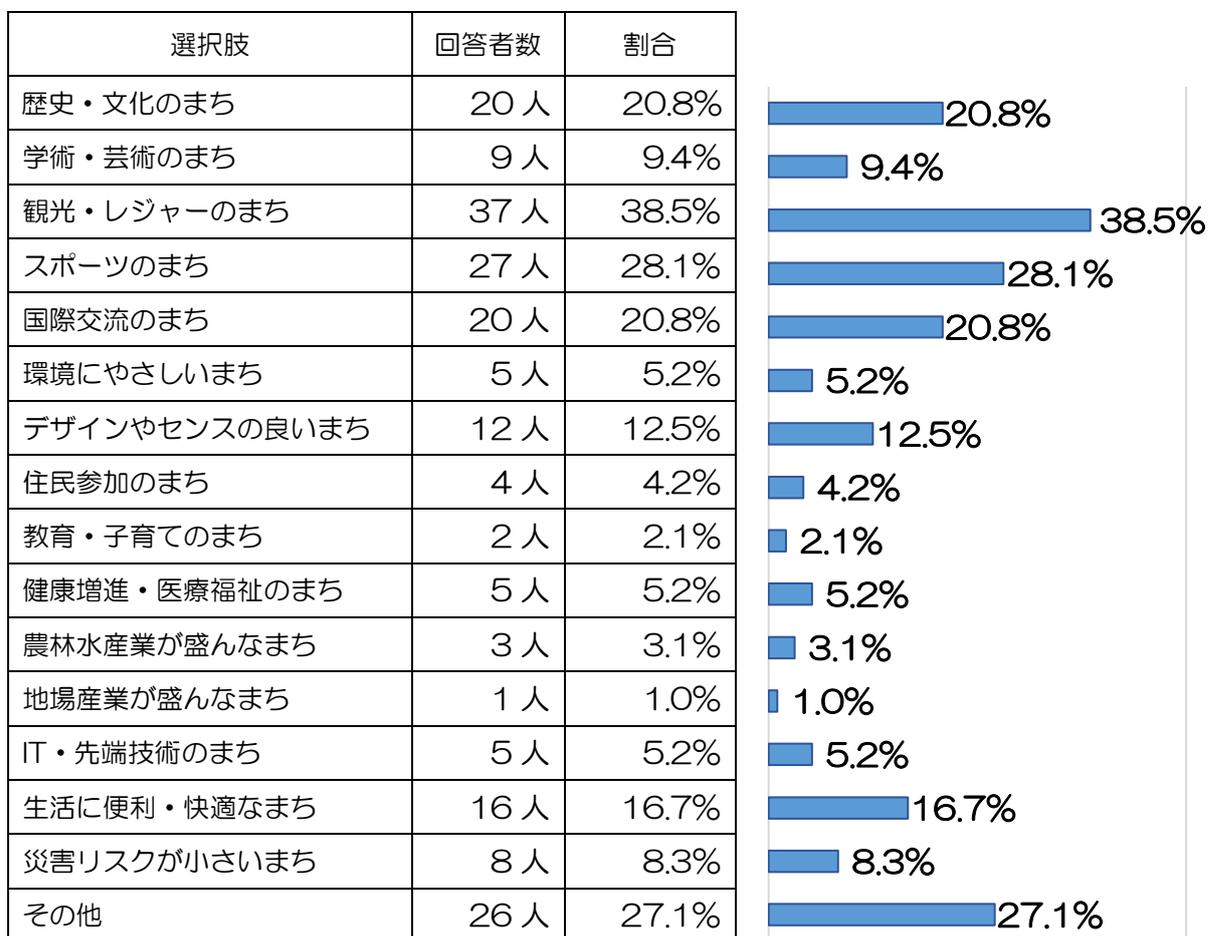


〈年齢別割合〉

(単位：%)



問 27 問 26 で「1 変化がある」と回答した方にお尋ねします。  
 新たに長崎市に対して、持つこととなったイメージはどのようなものですか。  
 (複数回答可)



(回答者数 96 人 有効回答数 200)

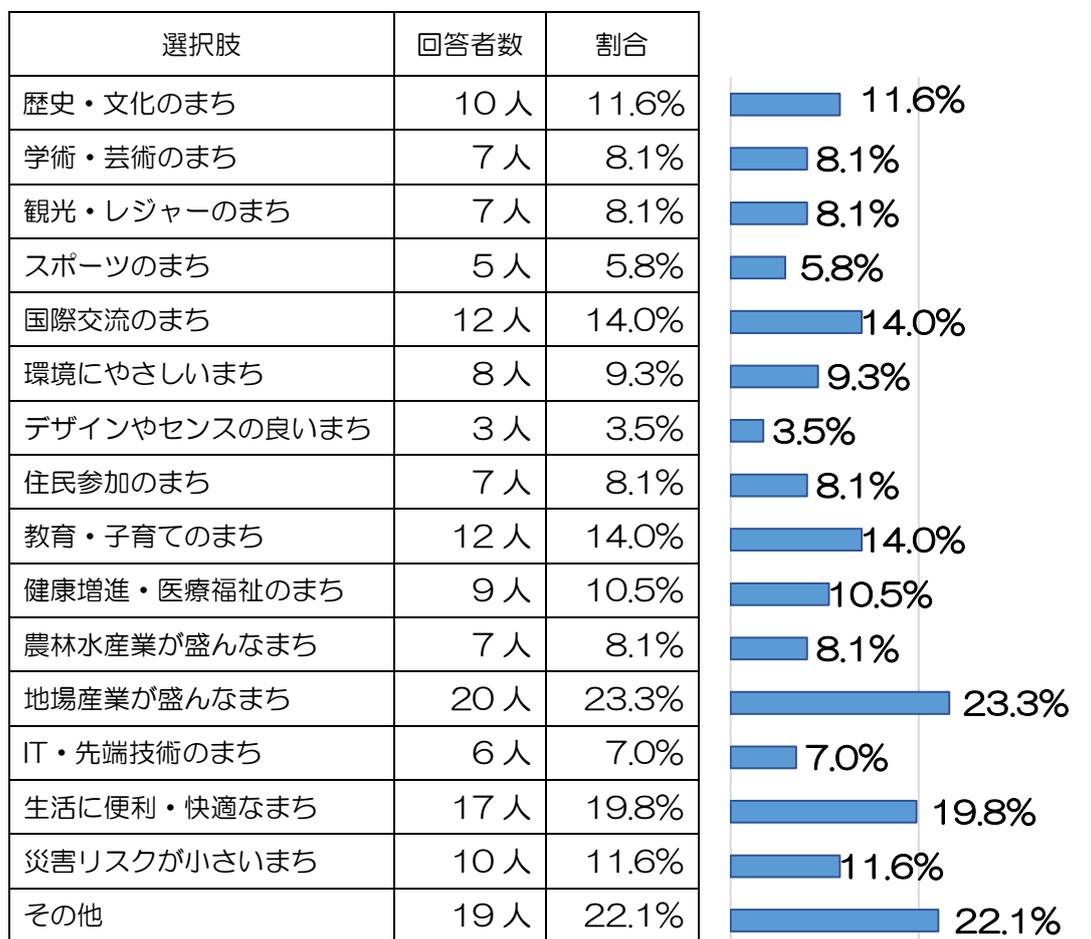
※「その他」の意見

- 新幹線開通、出島メッセ長崎等できたが、中身がとぼしい
- 箱ものばかりつくる長崎市
- 駅周辺の再開発により、近代的になるイメージを持っている
- 駅が大きくなりすぎて不便という声を聞く。昔のイメージがなくなって淋しい。
- 坂が多い為、高齢者は住みにくい。あまりにも空き家が多い
- 西九州新幹線開通
- 長崎駅など新幹線開業、それに伴う環境整備(ただ、中途半端)
- 良くも悪くも新幹線が通り、駅周辺がきれいになりつつある
- 住みやすくなっています
- 土地開発など
- 出島メッセが出来たことによって大規模のイベントが開催できている
- これから変化していくまち

など

問 28 問 26 で「1 変化がある」と回答した方にお尋ねします。

以前長崎市に対して持っていたものの、なくなったイメージはどのようなものですか。(複数回答可)



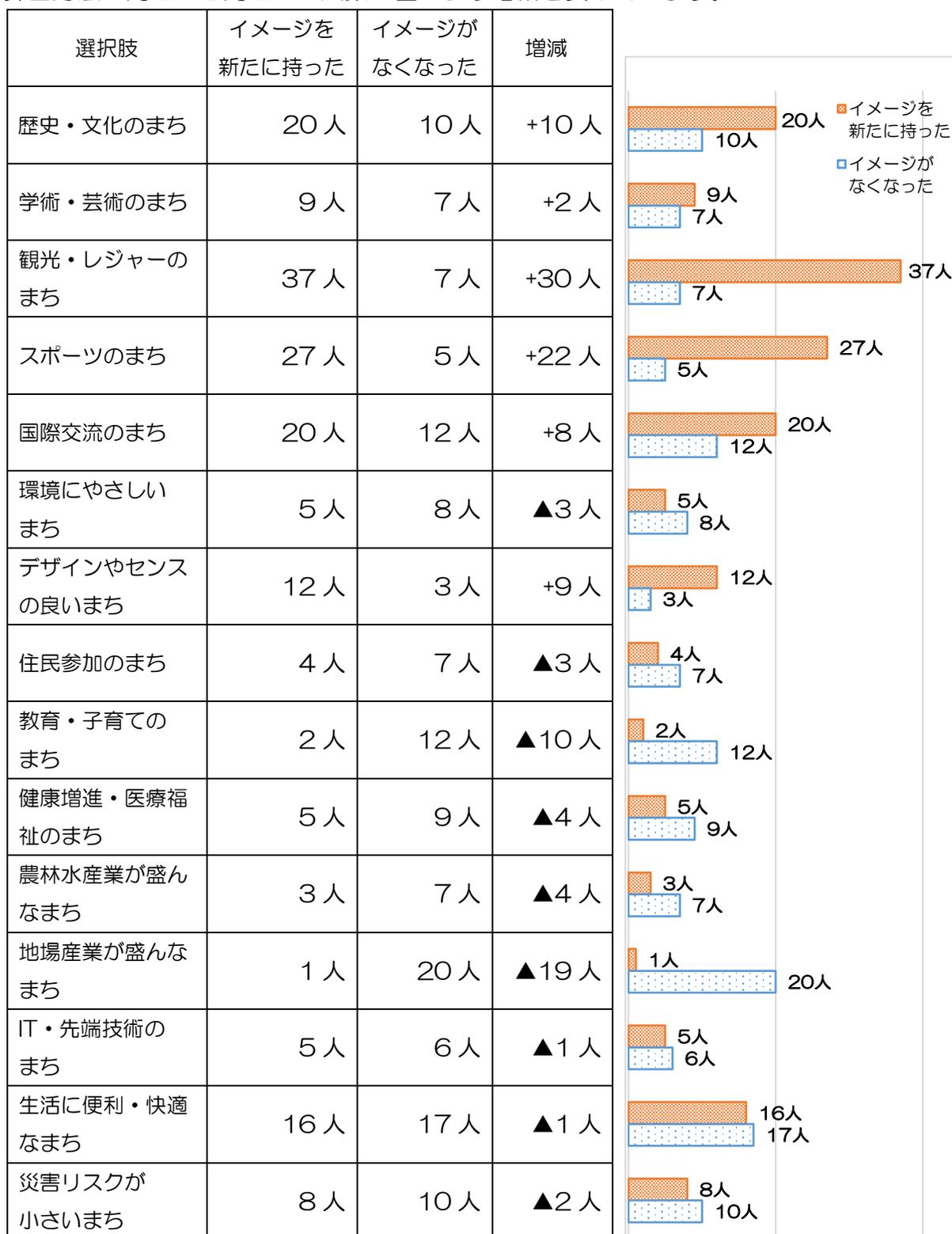
(回答者数 86 人 有効回答数 159)

※「その他」の意見

- 人口減少
- 駅前の開発が遅れていたと思っていた
- スポーツ施設やスポーツに関連する取り組みに姿勢に不満を持っている
- 街路樹の伐採はとても残念です。ちょうど紅葉する頃に全ての葉を伐採される意味がわかりません。落ち葉ですべったり、水路がつまってしまうたりと危険もあるのかもしれないが、各町内会、商店街で掃除してもらおうなどすると、いくつかの問題は解決すると思う。
- 歴史・文化が置き去りにになっている。せっかく他県にない歴史があるので、新しい建築物で競争せず、古い歴史を大切にしてほしい。もうホールはいらない。
- 市役所が新しく完成して嬉しいから
- 狭い街
- なかなか変わらないまち など

【イメージを持つかたの増減】

算出方法：問 27 と問 28 の人数の差により増減を表しています。



約 40%のかたが「変化がある」と回答しました。

このうち、新たにイメージを持ったかたが増えた項目（「変化がある」と答えたかたのうち、「新たにイメージを持った」かたと、「イメージがなくなった」かたの差）は、「観光・レジャーのまち」が 30 人の増となっており、長崎駅の整備、出島メッセのオープンなどによるイメージの変化があったと考えられます。続いて「スポーツのまち」が 22 人の増となっており、サッカーの V・ファーレン長崎やバスケットの長崎ヴェルカの活躍、長崎スタジアムシティプロジェクトなどにより、新たなイメージとして感じているかたが多いことが考えられます。

一方で、「地場産業が盛んなまち」が 19 人の減、「教育・子育てのまち」は 10 人の減となり、イメージがなくなった項目の上位となりました。

問 29 問 26 で「1 変化があった」と回答した方にお尋ねします。

変化した理由やきっかけがあれば教えてください。

【まちづくりに関すること】

- 新市庁舎、西九州新幹線により駅前など整備されつつあり変化している。
- 長崎駅周辺の再開発、新庁舎建設（移転）、新大工再開発で街の導線が変わるように思える。
- 駅周辺の再開発やスタジアム建設などによる、未来都市長崎の明るい希望を感じる。
- 新幹線開通に伴い、都市開発が活発になり、観光などに期待している。
- 長崎駅の整備、観光客などの為のサインの変化
- 新幹線…必要でした？
- 新幹線事業で長崎駅周辺が特に変化したと思う。長崎にブルーインパルスが来たのには、長崎にそのような力があったのかと、とても驚愕したし感動した。
- 駅前交差点の複雑化
- JR で福岡までの直通がなくなった。
- 西九州新幹線が武雄まででは変化が少ないと思うので、早く博多まで繋がってほしい。
- 長崎駅が大変化を遂げようとしています、まだ全体像が見えてきません。
- 駅西口の通りに大きな建物が並び、あたかもメインの通りになるのかと疑うばかりです。メインの通りはあくまで現在の駅前通りだと思われそうですが、現在工事中の駅舎後がどのように変化するのか注視していきたいと思います。
- 新幹線開通に伴い駅周辺は長崎である実感が無い程、美しくおしゃれになったが、高齢者は変化について行けず寂しい。
- 新幹線が開通してから、新しいお店ができたり、駅ビルに人が多くなったと思

いました。

- 新しい長崎駅や新幹線ばかりが目につき今までの商店街や、他の関係のない地区のさびれ方の心配がある。差がありすぎる感あり。
- 駅周辺が様変わりし近代的な景色となるのでしょうか、駅までの道のりが長く大変、又タクシー利用も遠回りで近くまで（今までのように）行けず、とても不便で不安です。
- 100年に一度の変化として、新庁舎や長崎駅周辺の工事、県外からの企業誘致
- 駅前の発展と丸山、思案橋地区の衰退
- 出島メッセや駅、市庁舎など交通、人の流れなど色々変化がありそうだし、あっている。
- 出島メッセで大規模のイベントを積極的に開催している。
- 長崎市役所庁舎の新築
- 市役所跡地にまた箱もの?!長崎市、日に日にひどい市になっています。
- 「長崎 MIRAIISM」の推進・実施
- 恐竜博物館、あぐりの丘新スポットオープン、出島メッセ、新スタジアムプロジェクトなど。
- 駐車場を増やしていただきたいし、料金が高いと感じます。九州圏内からは車での来客も多いと思います。
- 長崎市公会堂に代わる施設を早く造って頂きたい。
- 長崎市内で一人暮らしするようになり、出歩くことが増えたが景色が本当に綺麗だと思ったから。
- 住みたい街としては、候補地が難しい。また、観光地としては今以上発展はないと思う。面積、地形などにあった各々を考えるべきと思います。
- 長崎駅は新しくなるのかもしれないが、便利になったとは思わない。市民の税金をどのように使っているのか、たくさんのかたの批判ばかり聞く。一番多いのが市民病院の名前を変えたこと。どの人も市民病院としか言わない。元の名に戻してほしい。市役所の建物が大きすぎる事。旧の長崎の町が淋しくなってしまう。旧県庁→築町→思案橋 さびれてしまっている。一番嬉しいニュースは市長が変わるニュースです。
- 長崎バスが減便したことで、バスの本数が少なくなり、朝は毎日満員で、通勤が大変です。
- 長崎市の開発が進んでいるが道路事情が厳しそう渋滞緩和も頑張っていますが整備が遅れている。
- 歴史的な建物の解体
- 3年ぶりに長崎に帰ってきたら、マンションが増えたのと、駅付近がきれいになったりしていたからです。
- 土地が無いからこれ以上の発展は無いのではと思っていたが、ここ最近の整備・開発により、すり鉢状の長崎市だからこそ、ある意味特徴的な街の開発が

出来る未来性があると思えるようになった。

- 新しいものを集約し県外の人を集めることには少し成功したように見えるが、暮らしはあまり変わらず逆に後退しているように見える。住みやすい街並みではない。高齢者や障害者が暮らしやすく動きやすい街にしてほしい。
- 古くて良いものを壊してまで新しく建て直す必要があったとは思えない。
- 長崎市ビッグバンのような幸町～大波止迄の建造物変化、市役所・新大工町周辺の変化
- 天主堂公園が長い工事の末、新しくなりました。広々としてきれいになりましたが、以前壁に「長崎の鐘」の歌詞があったのですが、新しくなった公園には何も残っていません。とても残念でなりません。歴史として残してほしいです。今はイルミネーションでキラキラと、良いと思えません。

#### 【暮らしに関すること】

- 燃やせるゴミが増えて、ゴミ分別がやりやすくなった。
- 健康に関しての情報をよく見るようになった。

#### 【スポーツに関すること】

- 国際会議場の設置及び、スポーツ・文化の発展に力を入れている。
- ジャパネットによるサッカーやバスケのプロチームの活躍。
- バスケの長崎ヴェルカやサッカーのV・ファーレン長崎など、色々なスポーツが楽しめるようになった。
- 長崎スタジアムシティプロジェクトでサッカー専用スタジアムとアリーナが建設されるプロジェクトが進行中のため。
- バスケ（ヴェルカ）が、意外に人気なこと。
- 長崎スタジアムシティの建設
- スポーツ選手の活躍が増えて、目にする機会も増えてきたため。

#### 【歴史・文化に関すること】

- 芸術のイベントをもっと増やしてほしい。
- 長崎は歴史的建造物をすぐ壊す。長崎らしさがどんどん失われ悲しい。都会ぶらなくていいから、自然も大事にしてほしい。
- JR長崎駅周辺の再開発が進み、モダンな一画になろうとしていると感じ、繁栄する機会になればよいと思います。ただ残念なのは全国どこにでもある風景となりつつあるようです。オランダ人の人形や丸山芸妓の人形、オランダ船、オランダ国旗など、異国情緒に満ちた雑多な感じがあるのが良いと思う。
- 長崎独特の文化の価値
- 公民館講座で<歴史文化探訪>というのに参加しました。人物を中心に、その人に関する色々な所に説明を受けながら歩きました。とてもいろんな歴史、建

物、場所が残っていました。改めて感動でした。もっともっと広めていけると良いと感じました。

#### 【産業に関すること】

- 浜町アケードがひっそりと寂しい。ドラッグストアと百均・野菜屋中心で、洋服とか買い物には必要なく浜町へ出る機会が減った。観光地のお土産屋が閉店しているところも多くショックだった。
- 造船業の失敗で長崎のまちの元気がなく、仕事もなく、福祉の仕事しかない。浜の町もドラッグストア、パチンコ屋と、百貨店もあるけれど、魅力のない店舗が……。老舗がどんどんつぶれていって、野菜屋と安売りの店ばかりで、浜の町にもっとがんばってほしいし、市も県ももっと力を（協力・提案）貸してあげてほしいです。以前、観光客に「買い物をしたい、百貨店はどこ？おしゃれな店は浜の町にありますか」等すべてそろろうか？など聞かれて、路を教えてあげたけれど、思案橋も中華街も、イベントする意味ありますか？！って感じ。駅・出島まわりも大事でしょうが、まずは浜の町を盛り上げてください。
- 新しい商業施設など多く建ち、以前より活気があふれているように感じたため。
- 地元商店が撤退して大手商店が進化
- 商業施設や企業の支店が撤退しマンションだらけ。
- 働く場の減少
- 長崎に帰ってきたとき、長崎から人が出ている人数や、自分が転職した中小企業（家族経営）のレベルなど、いろいろな面でのレベルの低さを痛感したから。
- 老舗や生活密着型の古くからの商店街や店舗が開発型都市計画に負けて、姿をなくしてしまったことは寂しいが、時代の変化にはついて行かないと生きていけません。
- 郊外の農漁専門店に行っても、スーパーにあるものと新鮮度も値段も変わらない。

#### 【子育てに関すること】

- 子育て支援センターやお遊び会など無料で利用できる場所が多く、大変助かっているため。
- 子供を連れて遊びに行く場所が少なかったため、あぐりの丘（以前はさみしかった）や恐竜博物館ができて嬉しく思う。特に南部には何もないため、ありがたい。
- あぐりの丘のリニューアル

#### 【安全・安心に関すること】

- 大水害の後で川底が深堀されたおかげで流れがスムーズになりました。下水道の工事がなされて川に小魚が泳いでいるのが嬉しいです。

- 斜面地（古い場所）の基礎がゆるく崩壊の危険がある場所を多く見かけるようになった。特に墓地などは要注意と感じる所が多い。
- TV番組で「災害が少ない街」として紹介されているのを見たため。

#### 【その他】

- 物理的な変化はあるが、内面的（人の心の豊かさ等）にはとぼしい。
- コロナによって社会全体の不自由さや経済の不安定によること。
- 行政の国に対する態度
- 長崎大学が建設しようとしている施設地域住民の声を無視した強引な手法
- 松山町にある陸上競技場のあり方、利用者無視の施策
- 新しい情報が入手しにくくなった。（インターネットを使えないため）外出する機会が減り、見聞が少なくなった。
- 新市役所に引っ越しや、古い役所の不自由さに耐えたこともあろうかと思うと、頑張られました市長に感謝でいっぱい。職員も同じ気持ちでしょう。これから益々長崎のために頑張ってよい長崎になることでしょう。嬉しい気持ちになります。
- コロナ禍で外国船が来港しなくなったこと（観光客の激減）
- コロナで観光客が少なくなったこと、長崎駅周辺の開発が進んでいること、サッカー（スタジアム）やバスケットボールのプロチームができたこと。
- 色々遊びに行きたいですが、コロナが怖くて、あまり外に出られないです。
- 若いころ、近場に中国の領事館があり、時折のイベント（何かわからない）を見ることもありました。

など